

# KÄRCHER

## 取扱説明書 MC 50



MC 50 V9 201707

## ◆もくじ

---

使用上の注意	3～7
仕様	8
構造	9
外観名称	10～12
リアフェンダー内部名称	13
運転席名称	14～17
ブラシ昇降レバー	18～20
吸引ノズルレバー	21
移動	22
非常時の移動	23
準備	24～28
始業前点検	29
エンジン始動	30
散水	31
清掃手順	32
清掃手順　　サードブラシ（オプション）	33
コンテナの操作	34～35
使用しない場合	36
メンテナンス	37～59
メンテナンススケジュール	60～62
トラブル対応	63
お問い合わせ先	64
ユーザー登録・保証	65
修理	66～67
補修部品	68
オプションアクセサリー	69～83

## 使用上のご注意

---

◎ご使用の前に必ずお読みください。

### 絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



注意

取扱説明書をよくお読みください。  
そして、以下の安全手順に特に注意を払ってください。  
取扱説明書に記載されている情報と、法規安全と事故防止の規制を遵守する必要があります。



## 使用時の警告



作業専任者以外は操作しないこと  
けがをする場合があります。

### 改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

機能を十分に発揮しない場合が生じ、思わぬ事故のもとになることがあります。

危険物や火気のある場所で使用しないこと  
火災の原因となります。

構成部品を腐食させる環境では使用しないこと  
正常に作動しない場合があります。  
(例アセトン・原液酸・溶剤・・・)

健康を害するほこりは除去しないこと  
健康を害する危険があります。

オイル・発火性のほこりを吸引しないこと  
火災の危険性があります。



純正部品を使用すること  
正常に作動しない場合があります。

修理はケルヒャーまたは認定技術者が行うこと  
個人の修理は事故のもとになるおそれがあります。

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること  
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。



## 使用時の注意



飲酒時は絶対に運転しないこと

屋内で使用しないこと

一酸化炭素中毒を生じる場合があります非常に危険です。

マフラーを塞がないこと

一酸化炭素中毒を生じる場合があります非常に危険です。

マフラーに触れないこと

やけどの危険があります。

起動中のエンジンに触れないこと

やけどの危険があります。

ブレーキ性能が低下した状態で使用しないこと

衝突事故の危険があります。

走行中に異なるアクセルペダルを踏まないこと

前進ペダル ⇄ 後進ペダル) を踏みブレーキとして使用した場合  
油圧システムが損傷し重大事故を生じます。

旋回時に車両中央部位に立たないこと

車両にはさまれ重大事故の原因となります。

コンテナ昇降時に車両後部に立たないこと

負傷の危険性があります。

コンテナを上昇した状態で走行しないこと

走行安定性が損なわれます。

プロアーファンの安全装置を取り外さないこと

巻き込まれる危険があります。

危険物を水の代わりに使用しないこと

灯油、ガソリン、オイル、ワックス、塗料などの油性の液体を水の  
代わりに注入しないでください。

火災になるおそれがあります。

高反応性のある粉塵は吸引しないこと

アルカリ性・酸性洗剤と接触した際に反応する金属粉塵は爆発する  
危険があります。(例アルミニウム、マグネシウム、亜鉛・・・)



## 使用時の注意



燃料を切らさないこと

燃料ポンプが空気を吸い込み起動できなくなります。

クレーンで吊らないこと

車体が損傷します。

レッカー移動はしないこと

油圧系統が損傷します。

<必ず油圧系統をフリーにした後行うこと>

牽引しないこと

油圧系統が損傷します。

<必ず油圧系統をフリーにした後行うこと>



燃料の補給に注意すること

燃料がこぼれ、引火する恐れがあります。

周囲に燃料がこぼれている場合は、場所を移動し安全な場所で作業してください。

進行方向に対する勾配は25%以下

転倒の恐れがあります。

横方向に対する勾配は10%以下

転倒の恐れがあります。

路面の段差は15 cm

15 cm以上の場所を通過する場合はブラシ・ノズルを上昇させ段差に対し45度の角度で通過してください。

コンテナ昇降時は駐車ブレーキを使用すること

事故の危険性があります。

コンテナの取り外しには専用工具を使用すること

負傷の危険性があります。



## 使用時の注意



旋回する場合は速度を落とすこと  
転倒のおそれがあります。

走行する場合は車両の周りに注意すること  
巻き込みのおそれがあります。

作業環境に合わせたスピードで走行すること

始業前点検を行うこと  
正常に作動しない場合は使用を中止してください。

機械から離れる場合はキーを取り外すこと  
専任者以外は使用しないよう徹底してください。

機械から離れる場合は駐車ブレーキをかけること  
不意に動き出すことを防止します。

燃料は軽油を使用すること  
異種燃料を使用した場合、エンジンが壊れます。

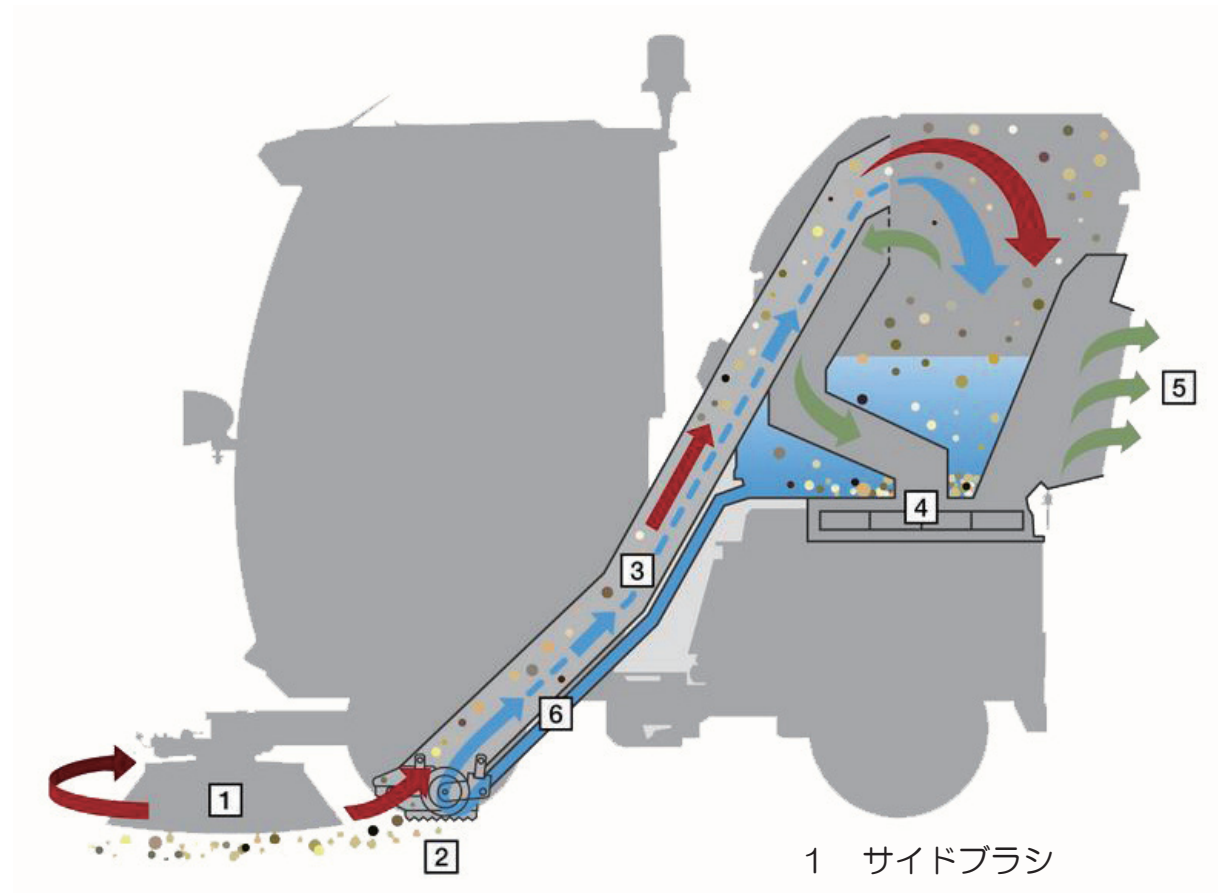
推奨する路面素材は  
アスファルト・工業用床・コンクリート・敷石です。

バッテリーを確認すること  
1年に一度交換してください。  
定期的に充電を行ってください。  
定期的にバッテリー液の補充を行ってください。

# 仕様

動力	タイプ 製造メーカー 出力 トルク 排気量 作業時回転数 エンジンオイル オイル粘度	ディーゼルエンジン ヤンマー 3TNV76 19.2 kW/26 HP 66.6 Nm 1116 CC 3000rpm 3.4 L SAE15 W 40
燃料	燃料タンク容量 作業時間（満タン）	軽油 37 L 約 12 時間
油圧システム	オイル粘度 タンク容量	油圧 SAE10 W 30 20 L
走行モーター	オイル粘度 タンク容量	油圧 SAE50 / API 90 4 輪× 01.7 L
制御電圧／バッテリー容量		12 V / 44 Ah / 5 h
使用環境 温度／湿度 騒音値		5 °C ~ 40 °C / 0 ~ 90 % 103 dB (A) (2000/14/EU) 79 dB (A) (EN 60704-1)
清掃幅／清掃能力 ブラシ直径／ブラシ回転数 寸法 長さ×幅×高さ 3ブラシは除く ブラシ間寸法		1,400 mm / 14,000 m <sup>2</sup> 700 mm / 0 ~ 150 rpm 2,848 × 1,091 × 1,950 mm 1350 mm
登坂能力		25 %
回転半径 質量／最大		750 mm 1,150 Kg / 1,750 Kg
前輪荷重 後輪荷重		900 Kg 1,200 Kg
速度 前進／後進 清掃		MAX 15 Km/h / MAX 8 Km/h MAX 10 Km/h
制動装置 走行ブレーキ 駐車ブレーキ		油圧 機械式
コンテナ容量 / 積載重量 廃棄高さ 水タンク容量		500 L/565 Kg 1,250 ~ 1,470 mm 160 L
タイヤサイズ 空気圧		195/55 R-10 : 6.00 × 10 H2 0.62Mpa
充填グリス		NLGI Class 2

## 構造



- 1 サイドブラシ
- 2 吸引ノズル
- 3 吸引ホース
- 4 タービン
- 5 排気口
- 6 粉塵防止用 散水システム  
(汚水巡回システム)

油圧駆動システムにより制御されています。

### 駆動方式

エンジンが油圧ポンプを駆動します。

油圧により前輪＋後輪が駆動し走行します。

### 清掃システム

前方に取り付けられたサイドブラシ 2 個がゴミを車体中央に寄せます。

タービンが回転しノズルからゴミを吸い上げコンテナに集塵されます。

### 粉塵防止

路面の粉塵発生を抑制するためにサイドブラシノズルから散水します。

タンクへゴミと汚水が回収されます。

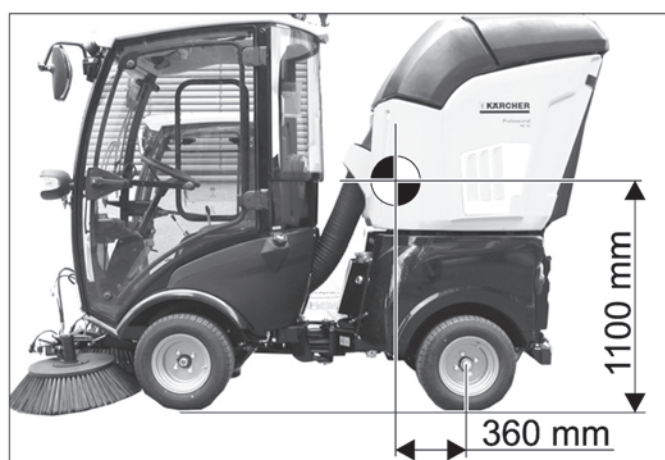
タンクに回収された汚水を吸引ホース内部で噴霧することにより排気口から噴出する粉塵を抑制します。

\*仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。

## 外観名称



- |    |            |    |              |
|----|------------|----|--------------|
| 1  | サイドブラシ     | 11 | 吸引ホース        |
| 2  | 散水ノズル      | 12 | コンテナ         |
| 3  | ライト・ウインカー  | 13 | コンテナカバー      |
| 4  | ドアハンドル     | 14 | 掃きだし棒        |
| 5  | ステアリングコラム  | 15 | バックライト・ウインカー |
| 6  | 作業灯        |    |              |
| 7  | ハンドル       |    |              |
| 8  | 天井操作パネル    |    |              |
| 9  | 回転灯        |    |              |
| 10 | 燃料タンク キャップ |    |              |



重心位置

---

## サードブラシ（オプション）



<サードブラシ格納>



<サードブラシ拡張>

サードブラシは左右どちらかに拡張させることができます。

油圧ホース・アームのセッティングが必要です。

変更の際は作業手順に従い設定を行ってください。

ブラシ間寸法

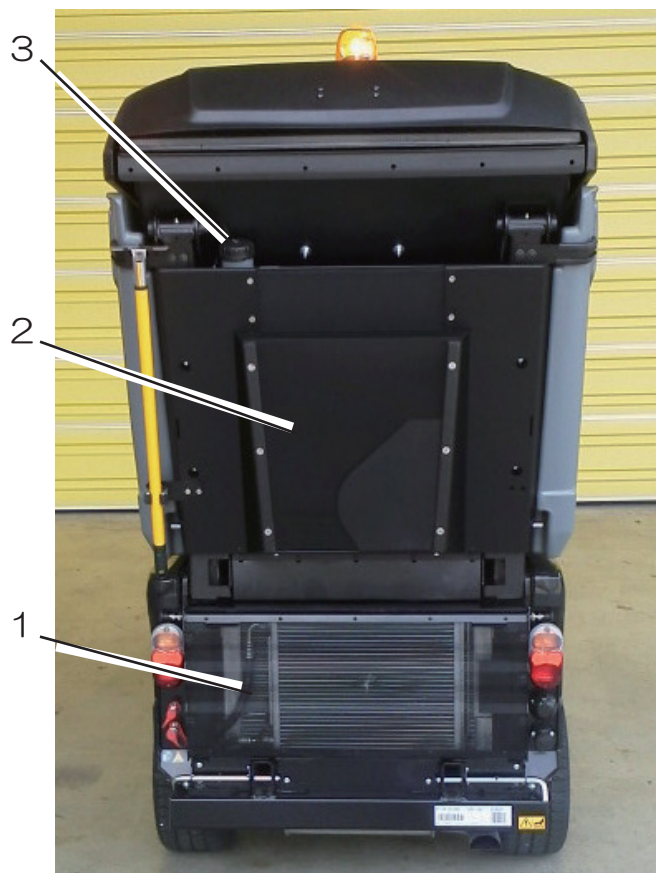
1350～2000mm

注意

拡張・格納に約5秒かかります。

拡張作業の際は

サードブラシをぶつけないよう注意してください。



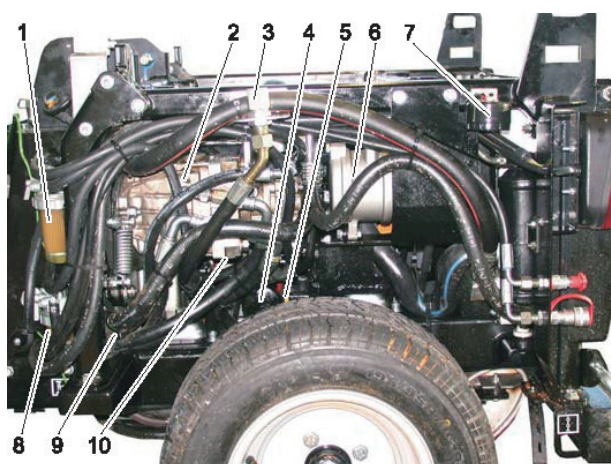
- 1 ラジエター
- 2 排気口
- 3 給水キャップ



- 4 ノズル撒布用循環ホース
- 5 水位レベル

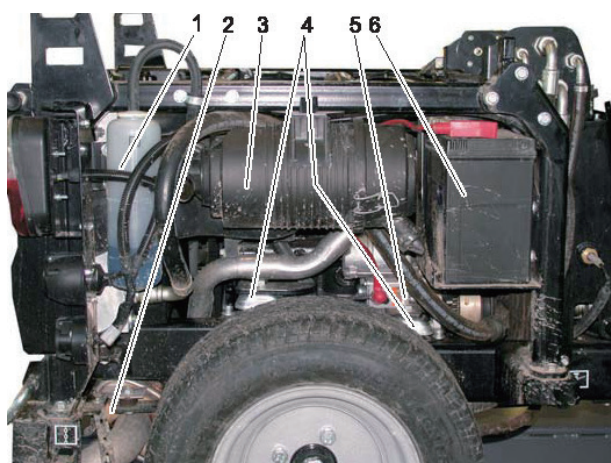
## リアフェンダー内部名称

---



### 左側フェンダー内部

- 1 燃料フィルター
- 2 油圧ポンプ
- 3 エンジンオイル給油口
- 4 オイルフィルター
- 5 オイルレベルゲージ
- 6 エアコン
- 7 バックブザー
- 8 ウォーターセパレーター
- 9 油圧ポンプ
- 10 バイパスバルブ



### 右側リアフェンダー内部

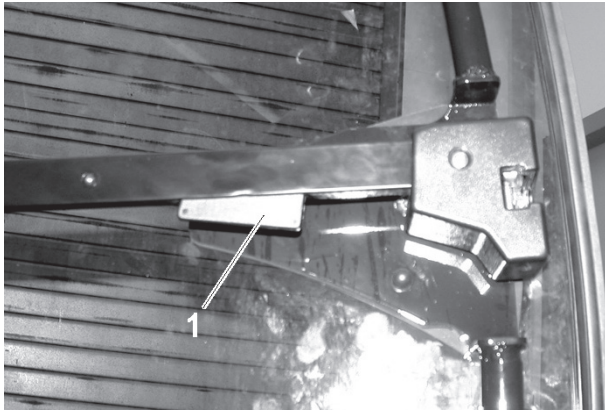
- 1 冷却水タンク
- 2 マフラー
- 3 エアフィルター
- 4 モーターブラケット
- 5 スターターモーター
- 6 バッテリー

## 運転席名称

---



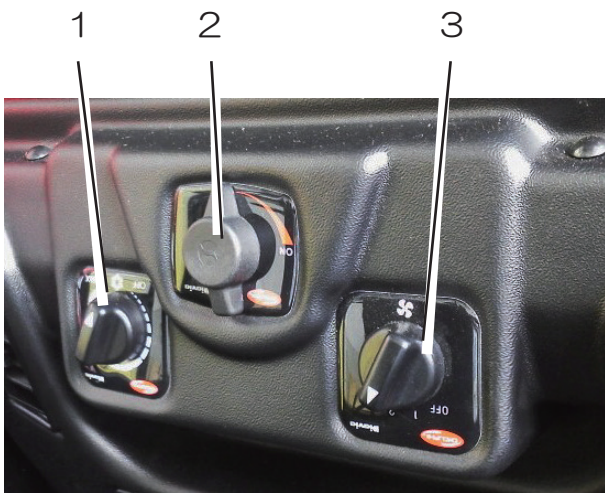
- 1 燃料計  
F：満油  
E：空
- 2 空調スイッチ
- 3 走行ペダル
- 4 デフロスタースイッチ
- 5 サイド操作パネル
- 6 操作レバー固定アタッチメント（移送・保管時に使用）
- 7 シート
- 8 非常脱出用 ハンマー



#### ドアハンドル

##### 1 解除レバー

レバーを握ると解除します。

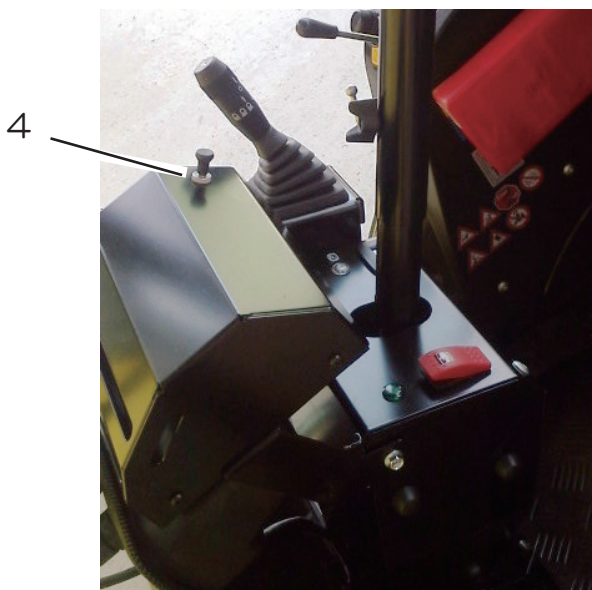


#### 空調スイッチ

##### 1 エアコンスイッチ

##### 2 ヒータースイッチ

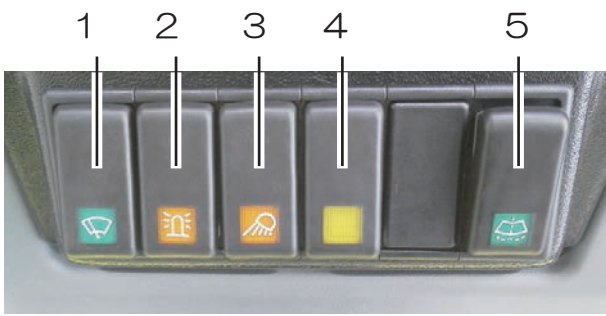
##### 3 風量コントロールスイッチ



#### 4 デフロスタースイッチ

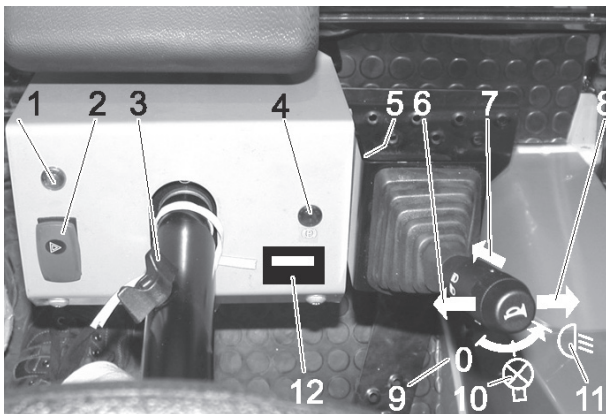
引く：ON

押す：OFF



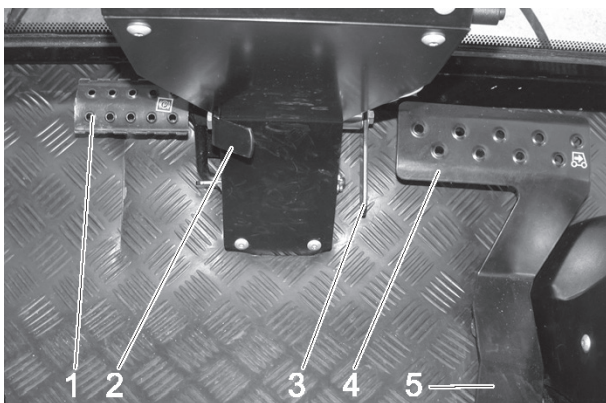
### 天井操作パネル

- 1 ワイパースイッチ  
低速・高速2段階
- 2 回転灯スイッチ
- 3 作業灯スイッチ
- 4 オプション用スイッチ
- 5 ウォッシャースイッチ



### ハンドル操作パネル

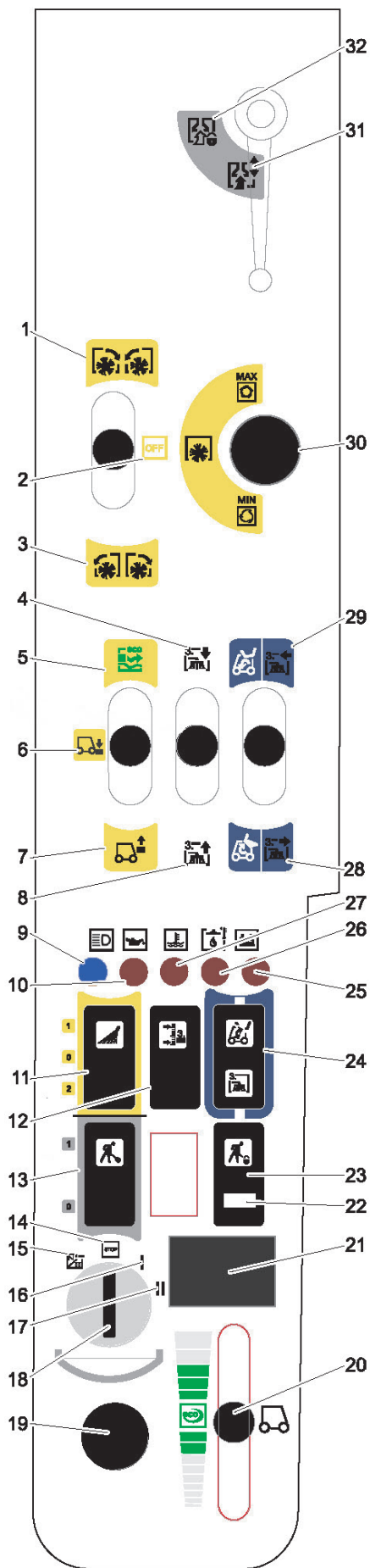
- 1 ウィンカーランプ
- 2 ハザードスイッチ
- 3 チルト（伸縮）スクリュー
- 4 パーキングランプ
- 5 チルト（角度）レバー
- 6 ウィンカー 左折
- 7 ホーン
- 8 ウィンカー 右折
- 9 ハイビーム
- 10 パーキングライト点灯
- 11 ロービーム
- 12 作業時間計（清掃作業累積時間）



### 操作ペダル

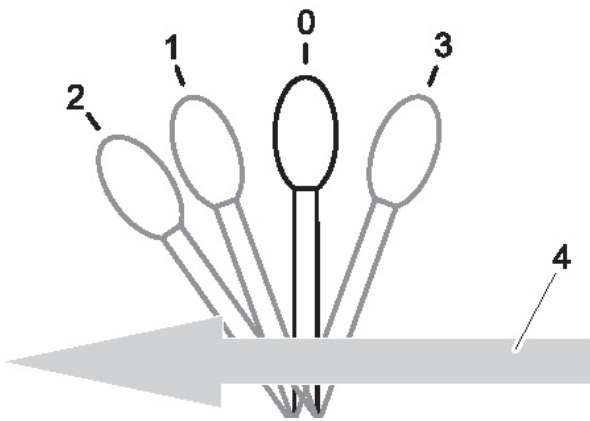
- 1 ブレーキペダル
- 2 ブレーキロック（パーキング）
- 3 清掃時スピード抑制プレート  
最高速度が出なくなります。
- 4 前進ペダル
- 5 後進ペダル

## サイド操作パネル



- |    |  |                |             |
|----|--|----------------|-------------|
| 1  |  | サイドブラシ         | 正転          |
| 2  |  | サイドブラシ         | 停止          |
| 3  |  | サイドブラシ         | 逆転          |
| 4  |  | サードブラシ         | 降下          |
| 5  |  | サイドブラシ         | 降下          |
| 6  |  | サイドブラシ         | ニュートラル位置    |
| 7  |  | サイドブラシ         | 上昇          |
| 8  |  | サードブラシ         | 上昇          |
| 9  |  | ハイビームランプ       |             |
| 10 |  | エンジンオイル        | 警告灯         |
| 11 |  | 散水スイッチ         |             |
|    |  | 1              | 散水（清水）      |
|    |  | 0              | 停止          |
|    |  | 2              | 散水（リサイクル）   |
| 12 |  | サードブラシ         | 傾き調整        |
| 13 |  | 吸引スイッチ         |             |
| 14 |  | エンジン停止         |             |
| 15 |  | グロー位置          | （3秒間保持）     |
| 16 |  | エンジン作動         |             |
| 17 |  | スターター駆動        | （5秒以上 保持禁止） |
| 18 |  | キーロック位置        |             |
| 19 |  | 12Vソケット        |             |
| 20 |  | アクセルレバー        |             |
| 21 |  | エンジン駆動時間計      |             |
| 22 |  | スイッチ解除レバー      |             |
| 23 |  | マニュアル吸引作動スイッチ  |             |
| 24 |  | コンテナ駆動スイッチ     |             |
|    |  | サードブラシ駆動スイッチ   |             |
| 25 |  | 充電             | 警告灯         |
| 26 |  | 制御油圧           | 警告灯         |
| 27 |  | エンジン水温         | 警告灯         |
| 28 |  | コンテナ上昇         |             |
|    |  | サードブラシ         | 右移動         |
| 29 |  | コンテナ降下         |             |
|    |  | サードブラシ         | 左移動         |
| 30 |  | サイドブラシ回転速度調整ノブ |             |
| 31 |  | 吸引ノズル          | サイドブラシ連動    |
| 32 |  | 吸引ノズル          | サイドブラシ連動解除  |

# ブラシ昇降レバー



## サイドブラシ昇降レバー

- 0 ニュートラル
- 1 サイドブラシ 加圧
- 2 サイドブラシ フローティング  
レバーを固定すると路面の凸凹を追随  
します。
- 3 上昇
- 4 進行方向



**注意**

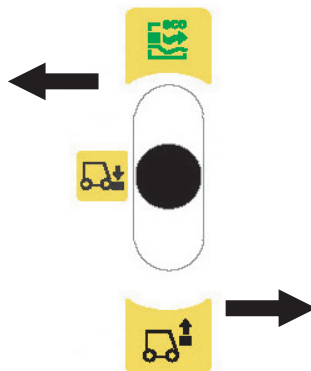
- 加圧位置で長時間作動させないこと  
サイドブラシが変形する場合があります。
- 路面に凹凸がある場合は加圧は行わないこと  
サイドブラシが損傷します。



前方まで押しロックしてください。  
床面を這うようにブラシが上下します。

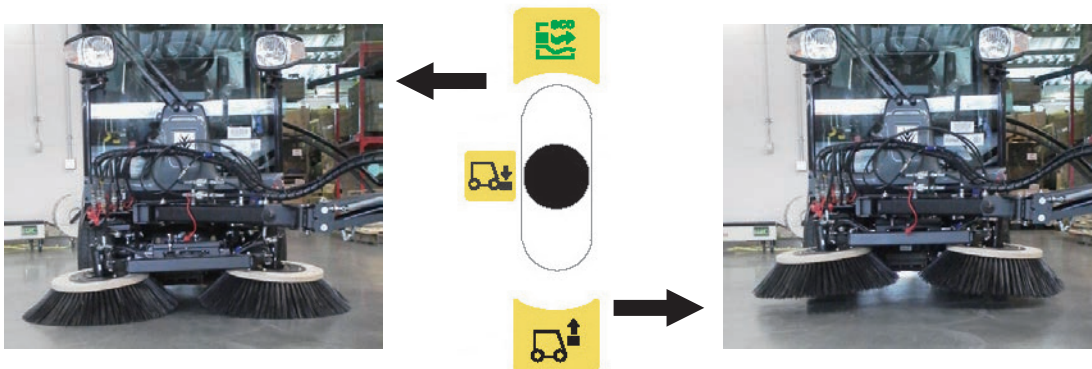


ブラシが上昇します。  
放すと油圧は開放されます。



### <ブラシ・ノズルの昇降>

ブラシ昇降レバーで操作してください。

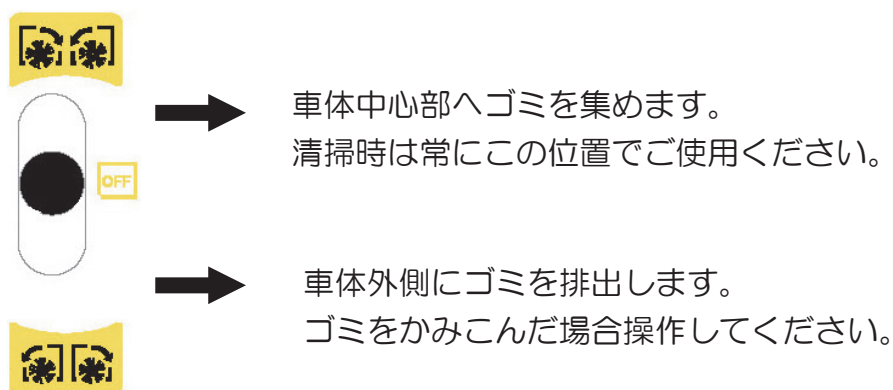


前方まで押しロックしてください。  
床面を這うようにブラシが上下します。

ブラシが上昇します。  
放すと油圧は開放されます。

### <ブラシの回転>

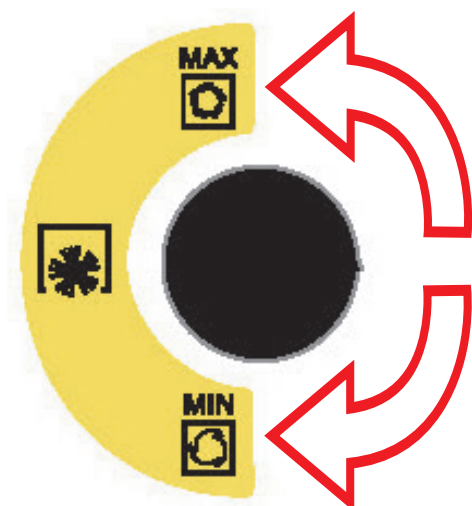
ブラシ回転レバーで操作してください。



### <ブラシの回転速度の調整>

サイドブラシ回転速度調整ノブを回し操作してください。

回転が速すぎるとゴミが飛び散るため現場状況に合わせて随時調整してください。

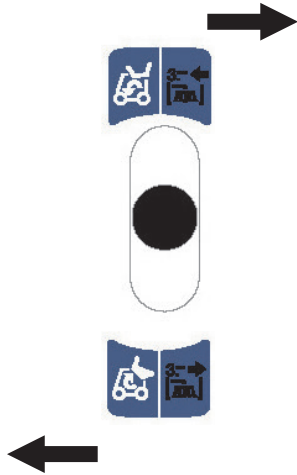


- 回転を上げる  
ノブを右回りに回してください。
- 回転を下げる  
ノブを左回りに回してください。

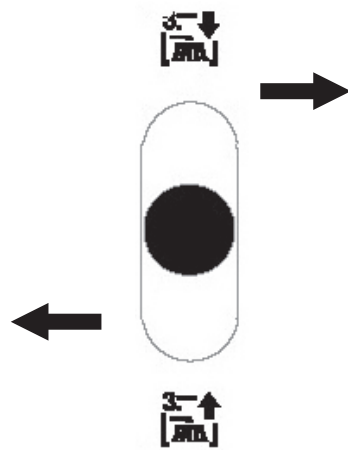
<サードブラシの拡張 オプション>

完全拡張まで約 5 秒かかります。

作業路面および 前方を常に注意し操作を行ってください。



<サードブラシの昇降>



<サードブラシの傾き>

外側のブラシが 1/3 接地するように調整してください。



## 吸引ノズルレバー操作



通常の作業の際は  
レバーを立てた状態で使用してください。

オプションアタッチメントを装着した場合は  
アタッチメントの取り扱いに準じレバー操作を  
行ってください。

- ノズルを下げる場合  
レバーを立てた状態にしてください。
- サイドブラシを取り外す場合  
レバーを横に倒してください。



**注意**

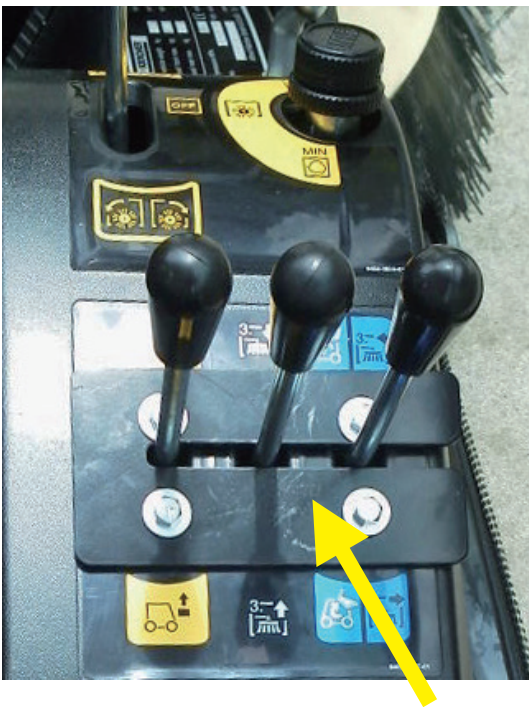
通常の清掃作業時は吸引ノズルレバーは操作しないこと  
ノズルの上下ができず損傷します。

## 移動



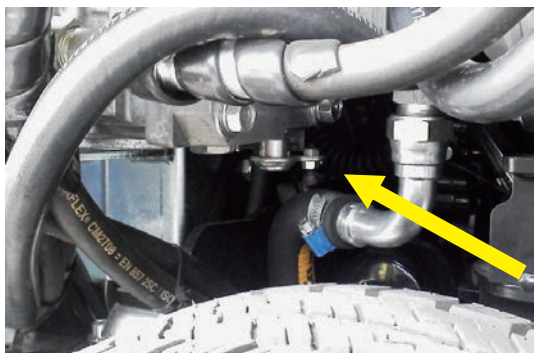
作業をせずに公道を移動する場合  
作業レバーをロックしてください。  
誤動作を防止することができます。

運転席後部右側の支柱にプレートがマグネット  
で格納されています。



作業レバー 3 本に差し込みロックしてください。

## 非常時の移動



### ＜非常時の移動＞

エンジンが起動できない場合の移動  
左側フェンダーを取り外してください。  
油圧ポンプ下部にあるレバーを操作します。



### 通常

レバーを奥までシッカリ移動し  
ロックしてください。



### 非常時（人力で移動）

レバーを手前に移動してください。  
人力で押すことができます。



### 注意

- 水平な場所に移動後、車止めを用い固定すること
- 移動後はレバーをもとの状態に戻すこと
- パーキングブレーキをかけること

# 準備

## 燃料の補給



### ガソリンスタンドで燃料を補給

- 水平な場所に移動してください。
  - ブレーキを固定し駐車位置にしてください。
  - エンジンを停止しキースイッチを抜いてください。
  - 燃料キャップを開けてください。
  - 油種（軽油）を確認してください。
  - 燃料ノズルをできるだけ奥まで挿入してください。
- 満油になると自動停止します。  
それ以上は給油しないでください。
- 燃料がこぼれた場合は拭い取ってください。
  - 燃料キャップをしっかりと閉めてください。

### 携行缶で補給

- 補給可能な油量を予測してください。
  - こぼれないように注意してください。
- 満油になると溢れ出ます。



注意

### 爆発の危険性

- 取扱説明書に準じた操作を行うこと
- 指定された燃料を補給すること
- 密閉された空間で給油を行わないこと
- 給油中は火気厳禁
- 加熱部分に燃料が触れないよう養生すること



### ウォッシャー液の補充

ウォッシャータンクのキャップを取り外しウォッシャー液を補充してください。



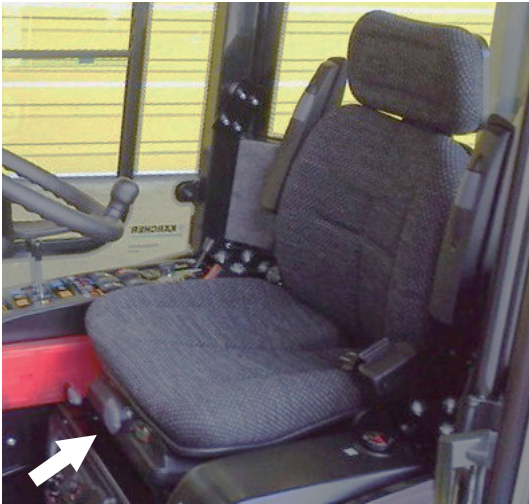
### <散水>

清水を使用する場合

キャップを取り外し清水を補充してください。  
(160L)

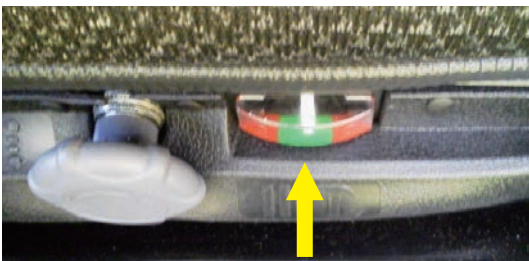
水量計を確認してください。





シートの調整  
着座してください。

シート位置の調整  
レバーを解除しシートを前後にスライドしてください。



シートダンパーの調整  
運転者の体重を合わせます。  
ノブを回しゲージのグリーン位置に針を合わせ  
てください。

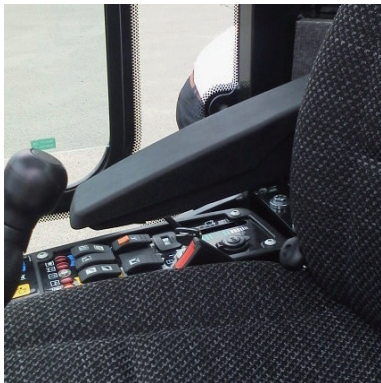


リクライニング  
操作パネル側のノブを回して調整してください。

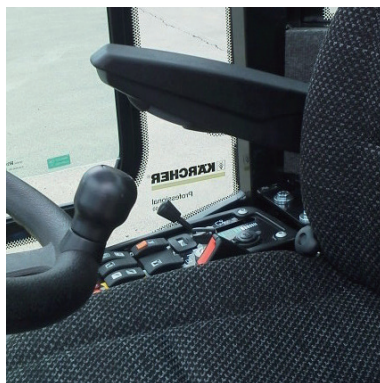


### アームレストの調整

アームレスト裏面のノブを回し高さを調整してください。



最も下げた状態



最も上げた状態



#### ハンドルの角度調整

レバーを緩めてください。

ハンドルを前後に傾け調整してください。

終了後 レバーでロックしてください。




#### ハンドルの高さ調整

ねじを緩めてください。

ハンドルを伸縮し高さを調整してください。

終了後 ねじをしっかり締めこんでください。

 **注意** 事故の危険性  
運転中は調整しないこと

# 始業前点検

## 始業前点検項目

- 燃料ラインの目視点検（漏れの確認）
- 接続ケーブルの目視点検（被服損傷・断線）
- マフラーの目視点検（排気漏れ）
- 油圧ラインの目視点検（オイル漏れ）
- 前進 後進を行い異常音がしないか確認
- アクセルペダルを放すと停止することを確認
- ブレーキが解除された状態でエンジンが起動しないことを確認
- 作動モードで運転席から離れると停止することを確認
- コンテナ昇降時 タービンが停止することを確認
- 日常メンテナンスを行う



## 注意

事故の危険性

車両中央部分（ヒンジ部分）に人がいないことを確認すること

ブレーキの過熱による事故の危険性

駐車ブレーキ作動中はアクセルを踏まないこと

エンジン損傷の危険性

始動後 油圧警告ランプが点灯した場合は直ちにエンジンを停止すること

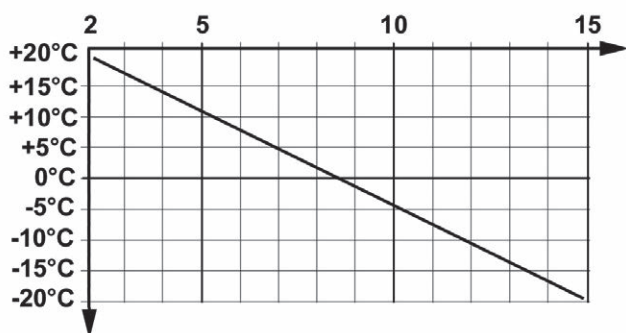
エンジンオーバーヒートの危険性

エンジン水温警告ランプが点灯した場合

エンジン回転数をアイドリング状態にし冷却を行ってください。  
（エンジンは切らないこと）

油圧ホース損傷の危険性

サイドブラシを必要以上に下げないこと

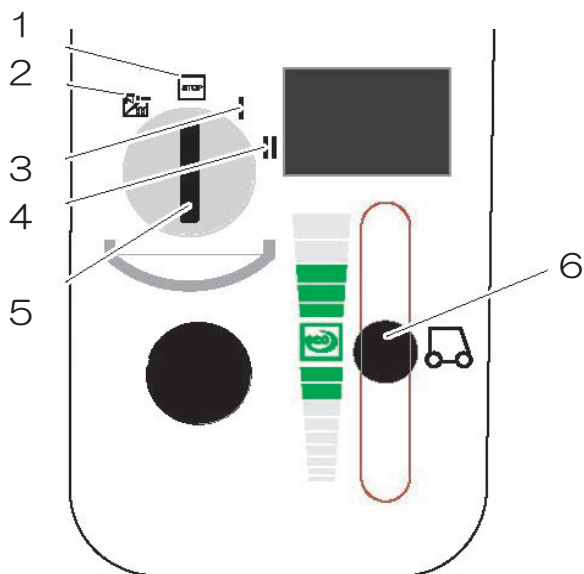


エンジン起動後、必ず暖気運転を行ってください。

作動油の温度が上昇しない状態で清掃作業を行うと作動油システムの負荷が高くなり重大な損傷を生じる場合があります。

外気温度	暖気運転時間
20°C	約2分
10°C	約5分
0°C	約8分
-10°C	約11分
-20°C	約15分

# エンジン始動



- 1 エンジン停止
- 2 グロー位置 3秒間保持
- 3 エンジン作動
- 4 スターター駆動 5秒以上 保持禁止
- 5 キーロック位置
- 6 アクセルレバー

ブレーキを踏み込むかパーキングにしてください。(パーキングランプ点灯)  
アクセルペダルから足を放してください。  
アクセルレバーを「MIN」位置にあわせてください。

キースイッチを「グロー」位置に回し予熱を行ってください。  
< 3秒以上回さないこと >

イグニッションキーをスターター駆動位置(II)まで回してください。  
< 5秒以上回さないこと >

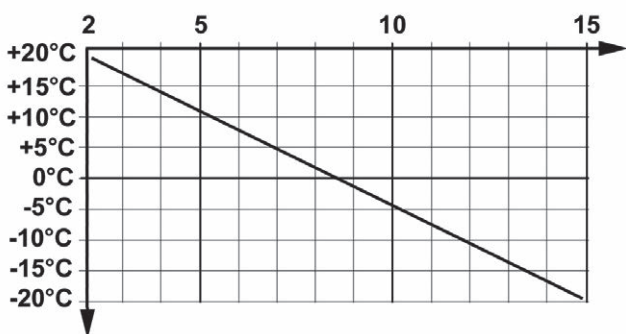
エンジン起動後キースイッチから手を放してください。  
油圧温度が上昇するまでアクセルレバーを「MIN」位置で保持してください。

ブレーキペダルを解除してください。

油圧オイルが設定温度に達する時間  
気温が

20°C	⇒	2分
10°C	⇒	5分
0°C	⇒	8分
-10°C	⇒	11分
-20°C	⇒	15分間

MIN位置のまま放置し暖機してください。



## 注意

- エンジン始動時は、アクセルペダルを踏まないこと
- 予熱は3秒以上行わないこと
- シート側面や後ろには物を置かないこと
- スターターモーターを5秒以上作動させないこと  
エンジンがかからない場合は10秒放置後再始動してください。
- 油圧オイル温度が上昇するまで走行しないこと
- パーキング状態で走行しないこと

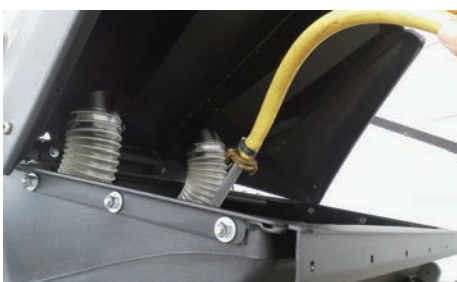
# 散水



## <散水>

清水（タンクの水）とリサイクル水を併用することができます。

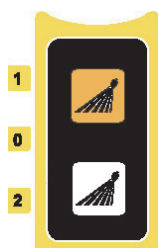
リサイクルを使用する場合  
ブラシ散水は清水を塗布し  
吸引ノズルは汚水を使用します。  
水の使用量を減らし長時間作業が行えます。  
コンテナカバーを開けてください。



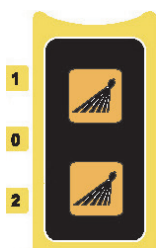
コンテナに清水を 50 L 補充してください。



散水停止



清水散水



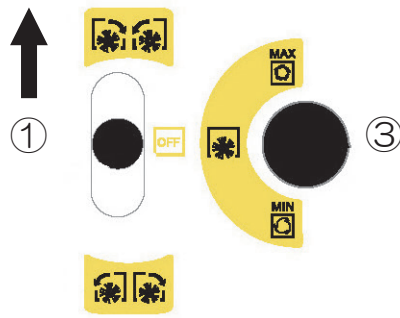
リサイクル

散水スイッチを入れると散水が始まります。



ブラシの散水量は青いバルブで調整してください。

# 清掃手順



エンジンを起動してください。

- ① ブラシを回転させてください。
- ② サイドブラシをフローティングモードまで押してください。
- ③ ブラシの回転を調整してください。
- ④ 散水スイッチを入れてください。

清水、リサイクルモードどちらかを選択  
清水モードの場合

1 が点灯します。

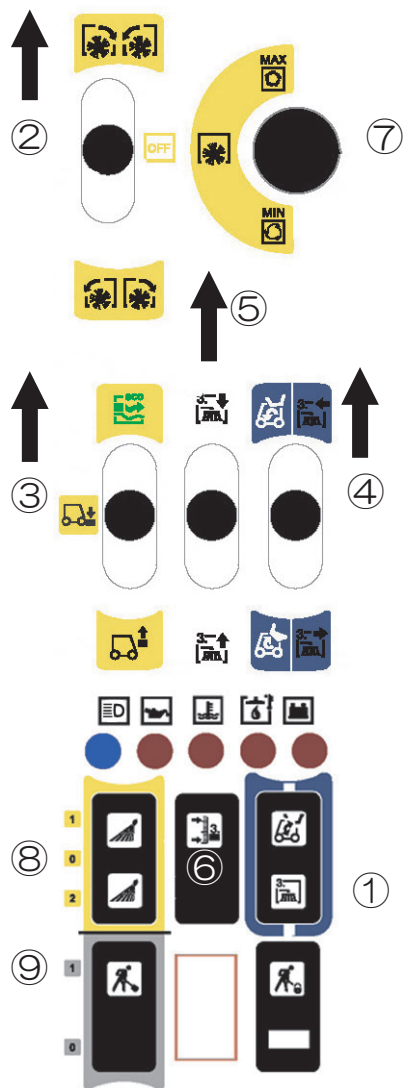
リサイクルモードの場合

1 と2 が点灯します。



- ⑤ 吸引スイッチを入れてください。  
スイッチが点灯します。
- ⑥ パーキングブレーキを解除してください。
- ⑦ アクセルペダルを操作してください。
- ⑧ コンテナのゴミを定期的に排出してください。

# 清掃手順 サードブラシ



＜サードブラシを使用する オプション＞  
エンジンを起動してください。

- ① サードブラシスイッチを押してください。
- ② ブラシを回転させてください。
- ③ サイドブラシをフローティングモードまで押してください。
- ④ サードブラシを展開してください。
- ⑤ サードブラシを降下させてください。
- ⑥ サードブラシの傾きを調整してください。
- ⑦ ブラシの回転を調整してください。
- ⑧ 散水スイッチを入れてください。  
清水、リサイクルモードどちらかを選択  
清水モードの場合  
1 が点灯します。  
リサイクルモードの場合  
1 と2 が点灯します。
- ⑨ 吸引スイッチを入れてください。  
スイッチが点灯します。
- ⑩ パーキングブレーキを解除してください。
- ⑪ アクセルペダルを操作してください。
- ⑫ コンテナのゴミを定期的に排出してください。



サードブラシ拡張時は清掃スピード2km 以下  
拡張・収納に時間を要します。  
ぶつけないよう作業を行ってください。

## コンテナの操作

### コンテナの上昇

清掃を中止してください。

パーキングブレーキを作動させてください。

ブラシを上昇させてください。



コンテナ駆動スイッチを押してください。（スイッチランプが点灯）



コンテナ昇降レバーを後方へ引いてください。

作動中は<ピーピーピー>と断続音が鳴り続けます。



### 注意

- コンテナ操作時は車両後部に人、動物がいないことを確認すること
- コンテナを操作する場合はパーキングブレーキを作動させること
- 稼働部位周辺に手を置かないこと
- ゴミを廃棄する場合は勾配が5%未満の場所で作業を行なうこと
- コンテナを上げた状態で走行しないこと
- コンテナカバーを開いた状態で移動しないこと



## コンテナの格納



コンテナ駆動スイッチを押してください。（スイッチランプが点灯）



コンテナ昇降レバーを前方へ押してください。  
作動中は<ピーピーピー>と断続音が鳴り続けます。  
完全に格納されると作動音が停止します。



コンテナスイッチを切ってください。（スイッチランプ消灯）



パーキングブレーキの作動を確認後、車両から降りてください。

コンテナの廃棄口のゴミを取り除きカバーを手で閉めてください。

## 使用しない場合

---

- 本機を水平な場所に保管してください。
- 燃料タンクに燃料を満タンに入れ、コックを閉めてください。
- エンジンオイルを交換してください。
- コンテナ内のゴミを廃棄してください。
- キースイッチを切り、キーを抜いてください。
- パーキングブレーキを使用してください。
- 本機の内部および外部を清掃してください。
- 湿った場所に保管しないでください。
- バッテリーケーブルを外してください。
- バッテリーを約2ヶ月毎に充電してください。
- 凍結する恐れがある場合は 散水システムが破損しないよう養生してください。

---

# メンテナンス



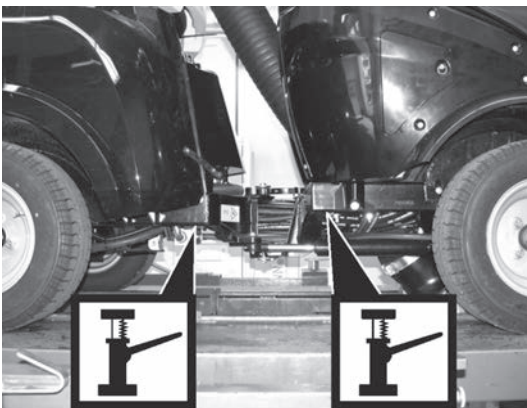
## 注意

- 機械は水平な場所に保管すること
- パーキングブレーキを必ずかけること
- 車止めを使用すること
- エンジンを停止しキーを外すこと
- エンジン停止後十分に冷却された後お手入れを行うこと
- バッテリーケーブルを取り外すこと
- コンテナを整備する場合は安全具を装着すること
- ジャッキアップポイント以外にジャッキをかけないこと

メンテナンス・修理は熟練した技術者が行なってください。  
必要に応じケルヒャーのサービスエンジニアに御相談ください。



- 水などで本機を洗浄しないでください。
- 内部の清掃をする際には、マスクやゴーグルを着用してください。
- 強い洗剤やガソリン、シンナー、ベンジン、掃除用、殺虫用、整髪スプレーなどは使用しないでください。破損、変質、変色の原因となります。



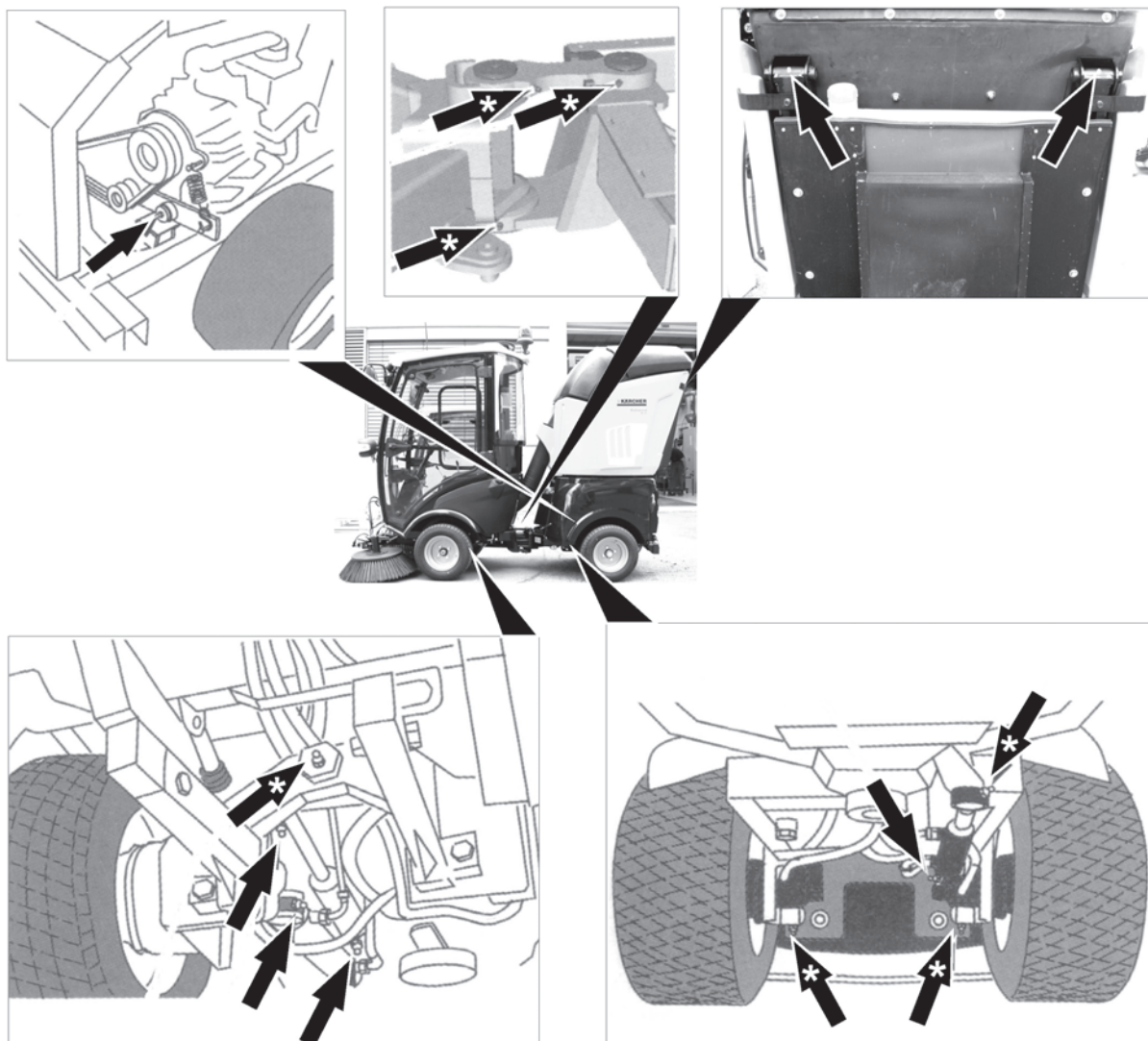
### ジャッキアップ

規定の場所以外にジャッキをかけないこと。

### タイヤ固定ナットのトルク

140Nm

## グリスアップポイント



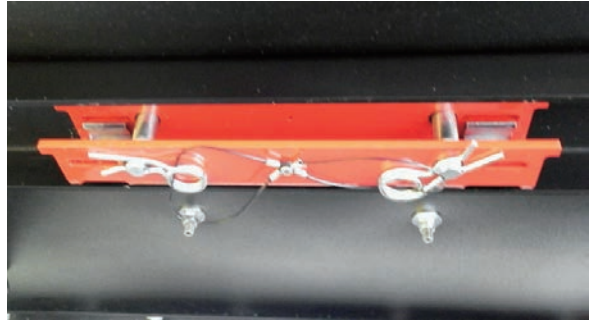
定期的にグリスアップを行ってください。



コンテナの整備

安全確保

シリンダーシャフトに安全具を装着してください。  
安全具はコンテナ裏面に装着されています。



シリンダーに差し込みピンで固定してください。



リサイクルフィルターの整備  
蝶ねじを取り外し固定プレートを取り外します。  
フィルターを引き抜いてください。



フィルターにつまりが有る場合は取り除いて  
ください。  
元の状態に戻してください。



リアフェンダーの取り外し  
リアフェンダーの前後にストラップが取り付けられています。

ストラップを取り外してください。



リアフェンダーを上を持ち上げ取り外してください。



## エンジン冷却系統

### リザーブタンク

右側リアフェンダーを外してください。  
リザーブタンクの水位を確認し 足りない場合は補給してください。  
環境に適した濃度で使用してください。



### ラジエター

ラジエターカバーを取り外します。  
上部の左右のピンを引きロックを解除してください。



エアコンコンデンサーの横の固定レバーを解除してください。



エアコンコンデンサーを後方へ倒してください。

ラジエターの表面をエアブローもしくは低圧の水流で汚れを取り除いてください。

カバーを元の状態に戻してください。



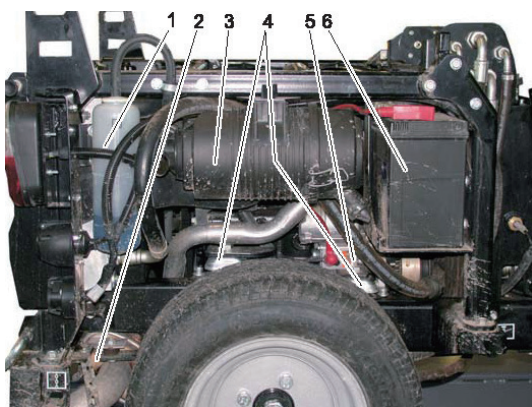
エンジンエアフィルター  
右側リアフェンダーを外してください。  
エアフィルターのインジケーターが赤く表示  
されている場合はエアクリナーを交換してく  
ださい。



蝶ねじを取り外してください。



フィルターケースを外側に引き出してください。  
フィルターカバーを取り外してください。  
フィルターを取り外し交換を行ってください。  
元の状態に戻してください。



各セルのバッテリー液のレベルは定期的に確認してください。

バッテリー

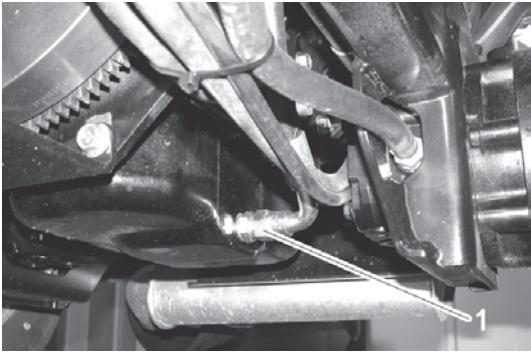
バッテリー液の比重

- 1 冷却水タンク
- 2 マフラー
- 3 エアフィルター
- 4 モーターブラケット
- 5 スターターモーター
- 6 バッテリー

バッテリーのフタを外してください。

バッテリー液が少ない場合は補充を行なってください。

比重計でバッテリー液の比重を確認し低い場合は充電を行なってください。



## エンジンオイル

### エンジンオイルの交換

オイルが汚れている場合は交換を行ってください。

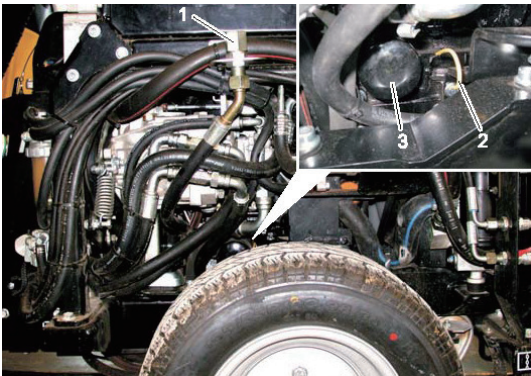
#### 1 オイルホース

オイル受けを用意してください。

オイルホースを取り外しオイルを抜いてください。

オイルホースを元の状態に戻してください。

オイル（6 L）を充填してください。



## エンジンオイル量の確認

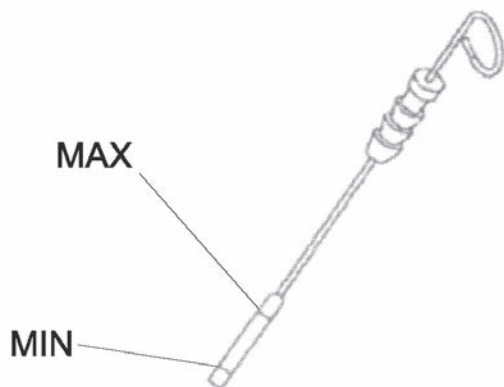
#### 1 エンジンオイル給油口

#### 2 オイルレベルゲージ

#### 3 オイルフィルター

1 オイルレベルゲージを引き抜きオイルの量が適正か確認してください。

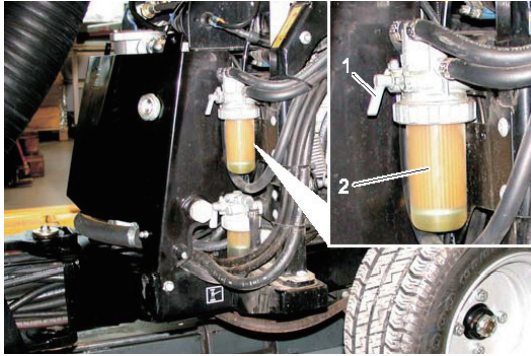
足りない場合はMAXまで補給してください。





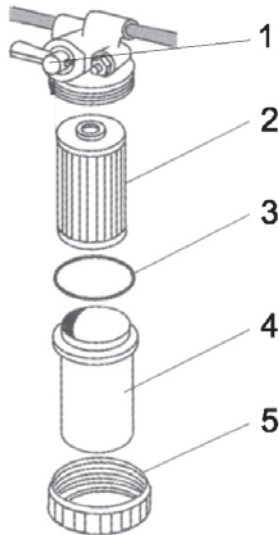
## 注意

- 火気厳禁
- バルブを閉じて作業を行うこと
- 密閉された屋内で作業しないこと



### 燃料フィルター

- 1 バルブ
- 2 燃料フィルター
- 3 シール
- 4 カップ
- 5 ナット



バルブを閉じてください。

オイル受けを用意してください。

ナットを外しキャップを取り外してください。

燃料フィルターを取り出してください。

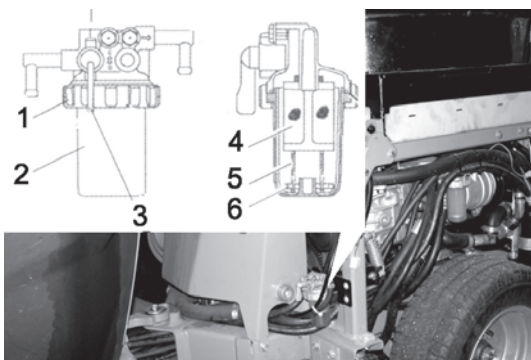
キャップの内部を清掃してください。

新しい燃料フィルタを取り付けてください。

シールを確認し損傷している場合は交換してください。

元の状態に戻してください。

バルブをあけエア抜きを行ってください。

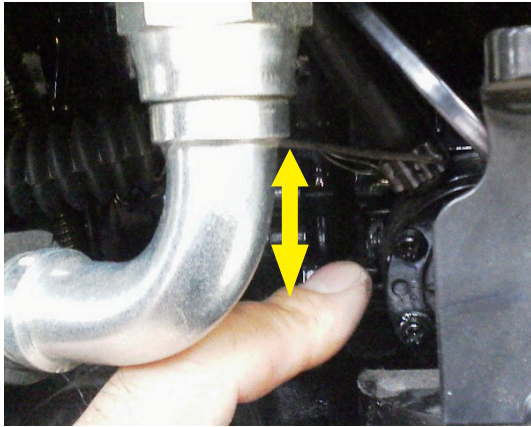


#### ウォーターセパレーター

- 1 ナット
- 2 キャップ
- 3 バルブ
- 4 フィルター
- 5 フロート
- 6 スプリング

オイル受けを用意してください。  
バルブが開いていることを確認してください。  
キャップの下部（フロート下部）に水がたまり  
ます。  
水がたまったままで放置するとフロートが上昇  
し燃料の供給を停止します。  
定期的の確認を行い水を取り除いてください。

バルブを閉じてください。  
ナットを外しキャップを取り外してください。  
キャップ内の水を捨ててください。  
キャップ内部を清掃してください。  
フィルターを清掃してください。  
シールを確認し損傷している場合は交換してく  
ださい。  
元の状態に戻してください。  
バルブをあけエア抜きを行ってください。



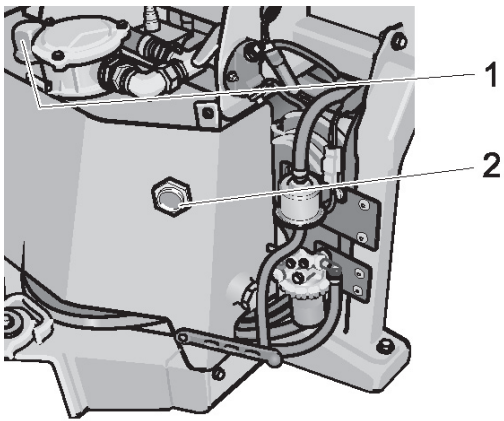
## 手動燃料ポンプ

燃料タンクの燃料が空の状態ではエンジンを動かした場合、エンジン燃料ポンプに空気が噛み込みエンジンがかからなくなります。その状態でスターターを回し続けると燃料ポンプが壊れます。エア抜きを必ず行ってください。

燃料タンクに燃料を補給してください。  
燃料フィルターまで燃料が来るまでエア抜きを行ってください。  
ウォーターセパレーターまで燃料が来るまでエア抜きを行ってください。

### 燃料ポンプのエア抜き

燃料ポンプの左側にレバーがあります。  
数回ポンピングし燃料ラインに入り込んだ空気を抜いてください。  
エンジンを起動してください。  
エンジンが起動しない場合は数回同じ動作を繰り返してください。



## 油圧オイル量

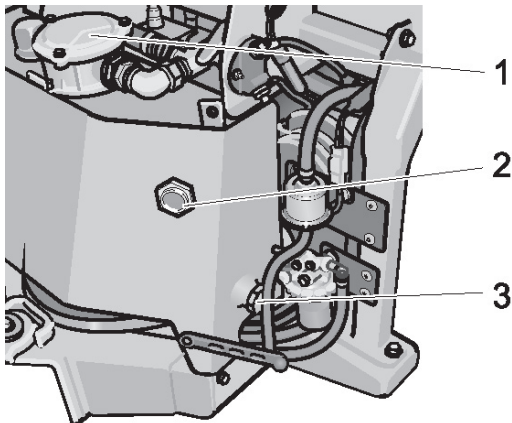
- 1 キャップ
- 2 オイルゲージ

ゲージを確認してください。  
少ない場合は補給してください。

### 補給方法

専用工具でコンテナを取り外してください。  
キャップを開け油圧オイルを補給してください。





## 油圧オイルの交換

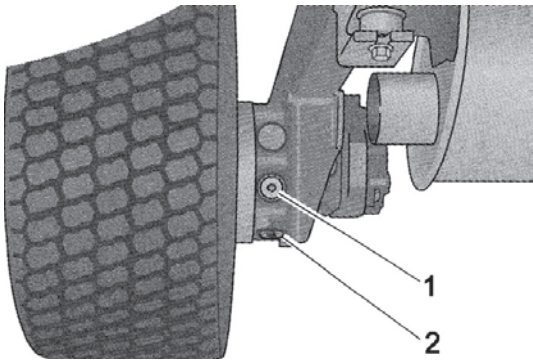
- 1 キャップ
- 2 オイルゲージ
- 3 オイルドレンボルト (40 Nm)

オイル受けを用意してください。  
油圧キャップの周りを綺麗にしてください。  
キャップを緩めてください。  
スプリング・フィルターを取り外してください。

オールドレンボルトを外し油圧オイルを抜いてください (約 20 リットル)

オールドレンボルトを元に戻してください。  
(40 Nm)  
油圧オイルを給油してください。

新しいフィルターを取り付けてください。  
シールを確認し損傷している場合は交換してください。  
キャップを閉めてください。  
エンジンを始動し、数分間駆動してください。  
漏れがないか確認してください。  
油圧オイル量を確認してください。



#### 走行モーター

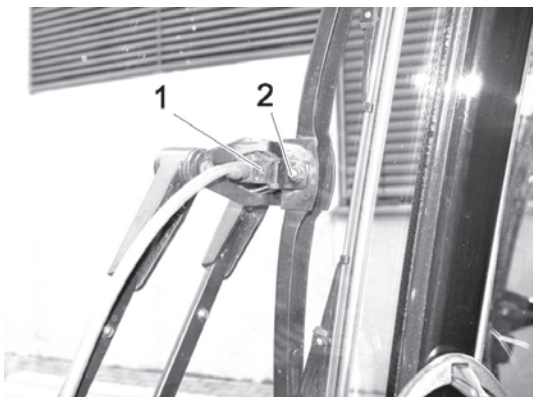
- 1 オイル充填ボルト
- 2 オイルドレンボルト

オイル充填ボルトとドレンボルトの周りを綺麗にしてください。

オイルドレンボルトを外しオイルを抜いてください。

オイルドレンボルトを元に戻してください。  
(30 Nm)。

充填ボルトを取り外しオイルを補給してください。  
(30 Nm)

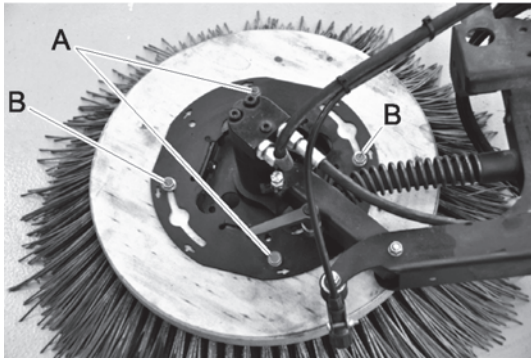


#### ワイパー

- 1 ノズル
- 2 取り付けねじ

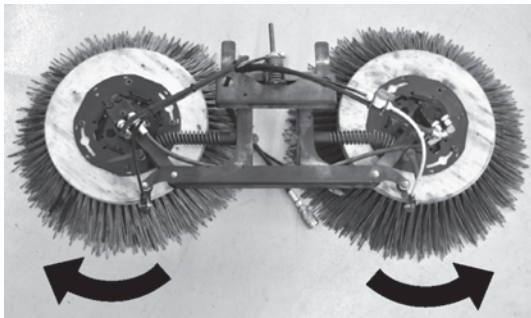
ワイパーのふき取りが悪い場合は交換してください。

ウォッシャー液の噴霧が悪い場合はノズルを清掃してください。

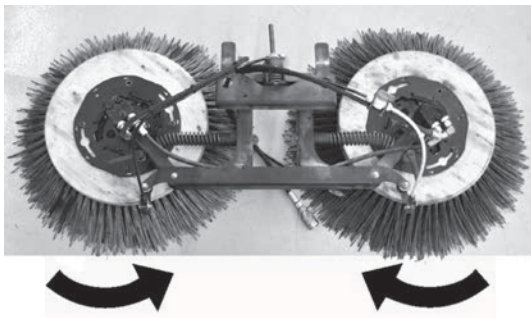


サイドブラシ  
A 固定スクリュー  
B 固定スクリュー

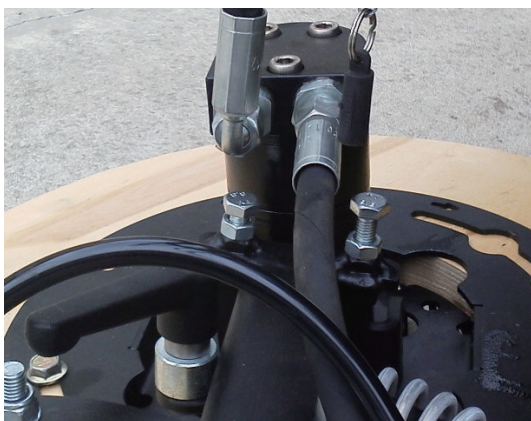
パーキングブレーキを作動させてください。  
エンジンを停止してください。  
スクリューB 2本を緩めてください。  
スクリューA 2本を外してください。



フランジの穴にスクリュー（B）の頭が来るまで図の方向に回し外してください。



新しいブラシを組み込んでください。  
スクリューBをフランジの穴に差し込み図の方向に回転してください。  
スクリューAとBをしっかりと固定してください。



サイドブラシの傾き調整  
前後2本のボルトを調整し傾きを調整します。

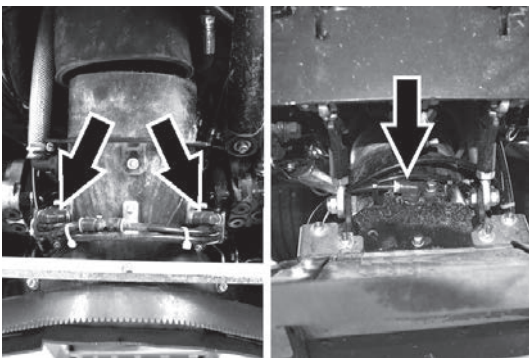
ロックナットを緩めてください。  
ボルトを出し入れし傾きを調整してください。  
調整後 ロックナットをしっかりと締めてください。



### 噴霧ノズル

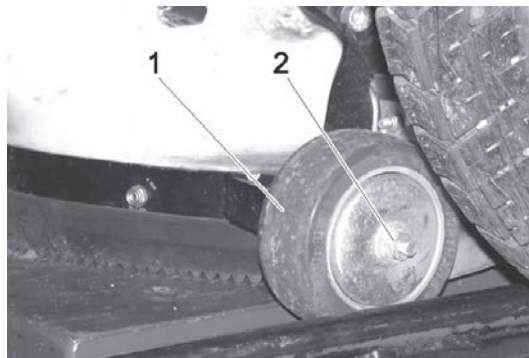
- 1 ノズル
- 2 取り付けナット

取り付けナットを取り外してください。  
ノズルを取り外しゴミ等が詰まっている場合は  
取り除いてください。



### 吸引ノズル噴霧ノズル

吸引ノズルを下げてください。  
吸引ホースを取り外してください。  
吸引開口部からノズルを取り外します。  
つまりが有る場合は取り除いてください。



### 吸引ノズル ガイドローラー

- 1 ガイドローラー
- 2 ナット

ローラーが磨耗している場合交換が必要です。  
ノズルのリップと床面の隙間を0～1 mmに  
調整してください。

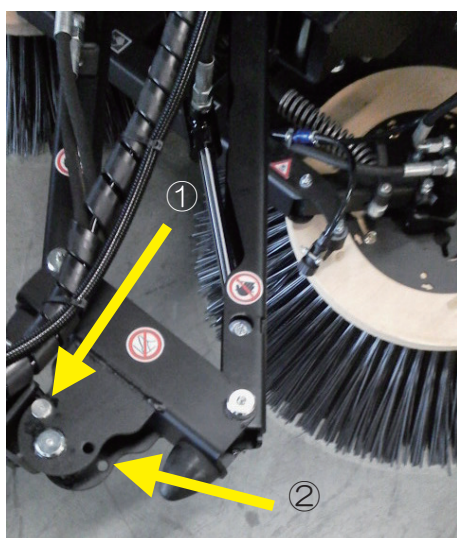
<サードブラシ展開方向の変更 オプション>



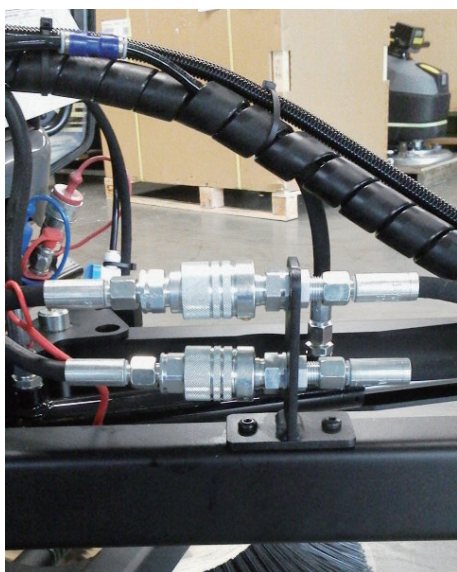
左展開



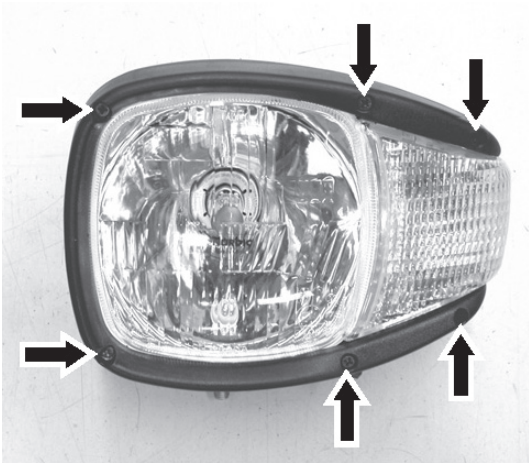
右展開



- ① アームのピンを入れ変えてください。
- ② アームを反対側に移動してください。
- ③ ピンを取り付けてください。

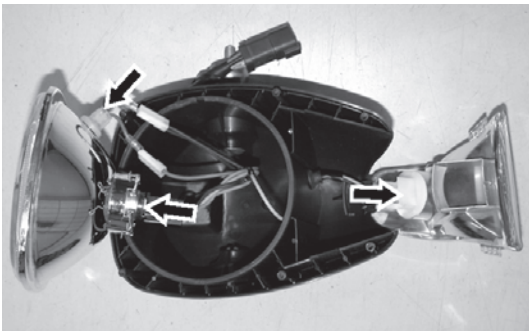


- ④ 油圧ホースを上下差し替えてください。  
ブラシの回転方向は車両中心方向へ回ります。
- ⑤ ブラシの回転方向に合わせてブラシの固定ボルトを付け替えてください。

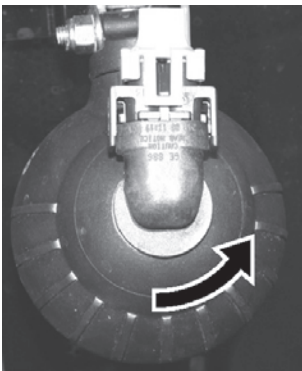


## ヘッドライト

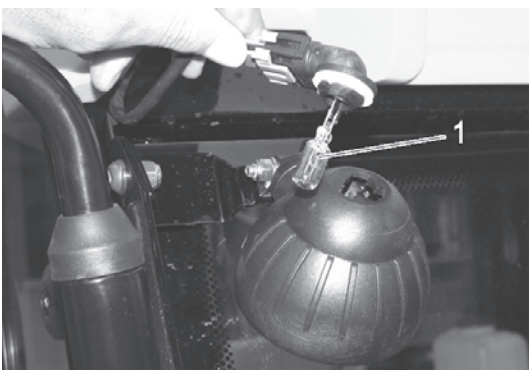
6か所のスクリューを取り外してください。



カバーを取り外します。

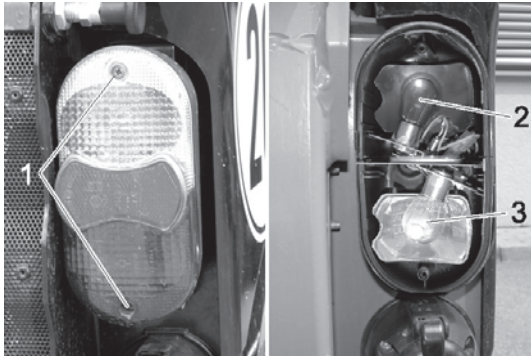


ソケットを回してください。



バルブを交換し元の状態に戻してください。

1 バルブ



### テールランプ

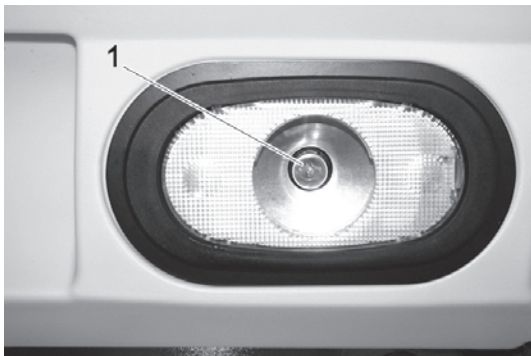
- 1 スクリュー
- 2 ブレーキランプ
- 3 ウィンカーランプ

2か所のスクリューを取り外してください。  
バルブを取り外し交換してください。



### ルームランプ

カバーを半時計方向に回してください。



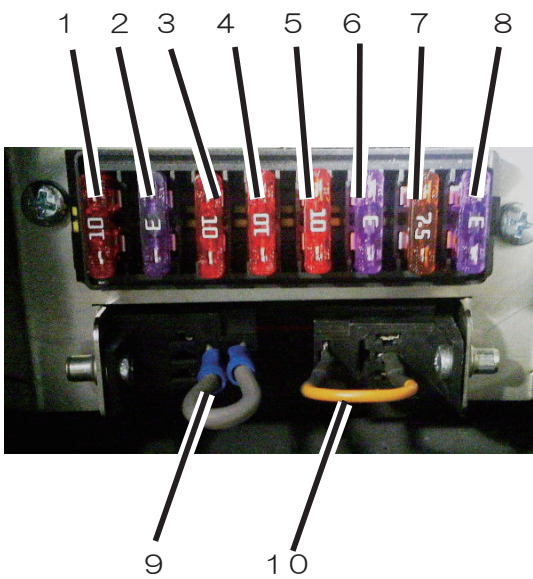
バルブを回し取り外し交換してください。



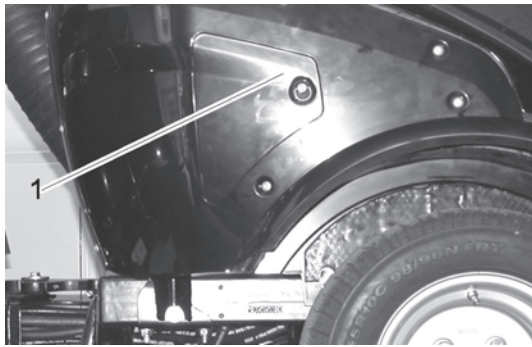
室内ヒューズボックス

- 1 ヒューズカバー
- 2 スクリュー

スクリューを取り外してください。  
カバーを外してください。



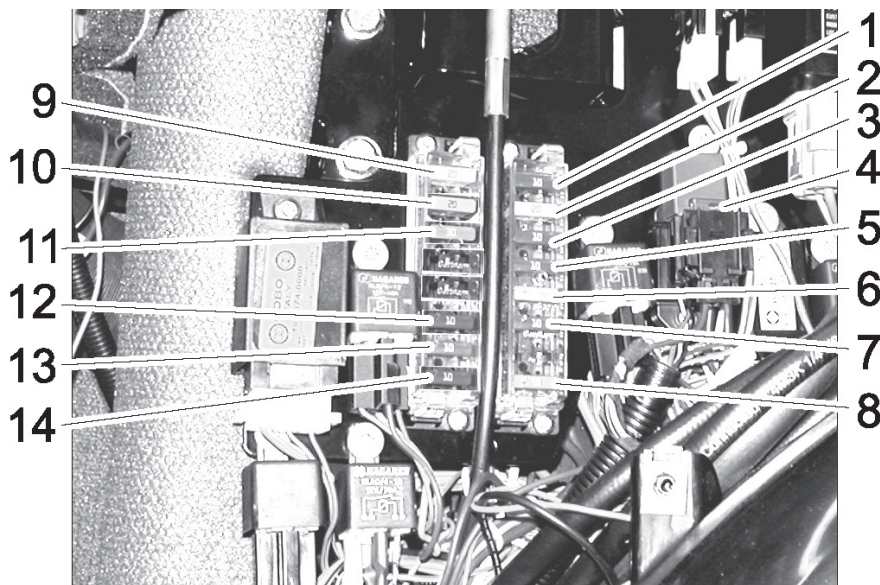
- 1 オプション (10 A)
- 2 オーディオ用 (3 A)
- 3 作業ライト (10 A)
- 4 オプションスイッチ用 (10 A)
- 5 ワイパー (10 A)
- 6 ウィンドーウォッシャー (3 A)
- 7 ランプ (7.5 A)
- 8 ルームランプ (3 A)
- 9 ジャンパー
- 10 ジャンパー



外部ヒューズボックス

1 スクリューカバー

スクリューを取り外してください。  
カバーを外してください。



- 1 10 A  
インジケータランプ・ブザー・ホーン・燃料ポンプ・ウインカー
- 2 20 A  
前 2ピンソケット  
前 7ピンソケット  
後 2ピンソケット
- 3 10A  
電磁バルブ・発電機
- 4 10A オンボード7ピンソケット
- 5 30A エンジン停止ソレノイド
- 6 10A PTO 制御・ブレーキランプ
- 7 40A メインヒューズ
- 8 20A ヘッドライド系
- 9 30A エアコン
- 10 30A キャビン用ヒューズボックス
- 11 10A ビーコン・ホーン・ライトリレー
- 12 10A ウインカー・ハザード系
- 13 10A エアコン

# メンテナンススケジュール

---

## 日常メンテナンス項目

- エンジンオイルのレベルを確認してください。
- エンジン冷却水レベルを確認してください。  
凍結環境に有る場合は不凍液濃度を確認してください。
- 油圧オイル量を確認してください。
- 油圧系統に漏れがないか確認してください。
- 燃料の残量を確認してください。
- バッテリーを確認してください。
- タイヤの空気圧を確認してください。
- シートの調整が適切か確認してください。
- キーコントロール
- 全ての動作機能を確認してください。

## 50作業時間後のメンテナンス項目

- 日常メンテナンスを行ってください。
- エンジンオイルとオイルフィルターを交換してください。
- 噴霧用水フィルターの清掃もしくは交換を行ってください。
- 油圧オイルフィルターを交換してください。
- ドライブモーターのオイルを交換してください。
- グリスアップポイントに給油してください。
- タイヤの空気圧を確認してください。

---

## 250作業時間後のメンテナンス項目

- 50 作業時間後のメンテナンスを行ってください。
- 燃料フィルターを確認してください。
- エンジン冷却水を交換してください。  
凍結環境に有る場合は不凍液濃度を確認してください。
- エンジンエアフィルターを交換してください。
- ブレーキ系統を確認してください。
- タイヤの外観状態を確認してください。
- エンジン冷却水ホース・クランプを確認してください。
- エンジンエアフィルターの接続ホース・クランプを確認してください。
- ラジエター・オイルクーラーの清掃を行ってください。
- ヒーターファンの機能を確認してください。
- ベルトの磨耗や損傷を確認してください。
- ウォーターセパレーターを確認してください。
- 燃料ホース・ホースクランプを確認してください。
- 吸引ノズル・吸引ホースの摩耗・稼動部位を確認してください。
- 排気グリッドを清掃してください。
- バルク廃棄物のフラップの機能と簡単な動きを確認してください。
- 噴霧用加圧ポンプ・噴霧ノズルを確認してください。
- バッテリーを確認してください。
- 作動ケーブルの動作確認を行ってください。
- エアコンの動作を確認してください。

---

#### 500作業時間後のメンテナンス項目

- 250作業時間後のメンテナンスを行ってください。
- 燃料フィルターを交換してください。
- 燃料タンクを清掃してください。
- 油圧オイルを交換してください。
- マフラーを確認してください。
- 油圧作動シリンダーを確認してください。
- シャーシーブッシュに硬化・損傷がないか確認してください。
- 油圧操作レバーの動作確認してください。
- 前進後進ペダルのニュートラルが適正か確認してください。
- コントロールランプに異常がないか確認してください。

#### 1000作業時間後のメンテナンス項目

- 500作業時間後のメンテナンスを行ってください。
- エンジンの制御バルブ（IN・OUT）の調整を依頼してください。

#### 1500作業時間後のメンテナンス項目

- 500作業時間後のメンテナンスを行ってください。
- エンジンの燃料ノズルの清掃を依頼してください。

#### 2000作業時間後のメンテナンス項目

- 500作業時間後のメンテナンスを行ってください。
- エンジンのバルブ研磨を依頼してください。

## トラブル対応

症状	対応
動かない	バッテリーを充電または交換 燃料を補給し、燃料系をエア抜き 燃料フィルターを清掃または交換 燃料パイプ・接続部位を確認 漏れ緩みがある場合は修復 サービスフロントへ連絡
エンジンが不規則	エアフィルターを清掃または交換 燃料パイプ・接続部位を確認 漏れ緩みがある場合は修復 サービスフロントへ連絡
エンジンは作動するが 走行がゆっくり・ もしくは全く動かない	パーキングブレーキを解除 油圧オイルレベル・油圧ホースの接続確認 サービスフロントへ連絡
サイドブラシが ゆっくり・ もしくは全く動かない	サイドブラシの回転速度を上げる 絡まったロープやテープを取り除く 油圧オイルレベル・油圧ホースの接続確認 サービスフロントへ連絡
粉塵が舞う	噴霧スイッチを入れる タンクに水を補給 サイドブラシの速度を調整 サイドブラシの噴霧ノズルを清掃 サービスフロントへ連絡
集塵できない	コンテナを空にする エンジンスピードを上げる 吸引ノズルを清掃 排気ダクトを清掃 サービスフロントへ連絡
粗ゴミが残る	吸引ノズルを清掃 ノズルの高さを調整 サービスフロントへ連絡
コンテナが動かない	油圧オイルレベルを確認 油圧ホースの接続確認 サービスフロントへ連絡

## お問い合わせ先

---

### <サービスフロント>

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00  
(祝祭日、当社休日を除く)

TEL：0570-78-3140

FAX：045-438-1320

製品に関するお問い合わせはお近くの営業拠点までご連絡ください。

営業拠点：弊社ウェブサイトでご確認をお願いします。

ホームページ：<https://www.kaercher.com/jp/>

⇒会社情報

⇒企業情報

⇒営業拠点 でご確認いただけます。

## ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。ケルヒャー ジャパン株式会社では、十分なアフターサービスを提供するために、当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



＜ユーザー登録をいただいたお客さま限定＞  
ご購入日から1年間の保証期間を  
ご購入から2年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。ぜひご登録ください。

### ＜ユーザー登録方法＞

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

サービス - 業務用製品ユーザー登録

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。  
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
- S/N：xxxxxxの数字がシリアル番号です。

### ＜保証＞

保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。

### ＜お問い合わせ先＞

ケルヒャー ジャパン株式会社 サービスフロント

TEL：0570-78-3140

メール：service@karcher.co.jp

### 登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。

尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

当社の個人情報保護の取り組みについては、ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトでご覧いただけます。

## 修理

---

修理はサービスフロントへお問い合わせください。

### ●修理機をご送付頂く場合

最寄りの弊社拠点へご送付ください。

修理を依頼する場合は、FAX もしくはメールフォームで申込みを受け付けております。「修理申込書」に故障状況などをご記入いただき、サービスフロントへ FAX 頂き・修理機に同梱してください。

※申込書は弊社ホームページからダウンロードを行なってください。

もしくはメールフォームから修理の申し込みを受け付けております。

必要事項をご入力いただき、申込書を修理機に同梱してください。

お見積り提示まで入庫後5稼働日ほどかかります。

お見積り提出後 2 週間以内にご連絡が頂けない場合は着払いでご返送させていただきます。

### ■修理機を送付される場合はお近くの営業拠点へご送付ください。

弊社ホームページからお近くの拠点をご確認頂けます。

ホームページから拠点を確認する場合は

<https://www.kaercher.com/jp/>

⇒会社情報

⇒営業拠点

### ●出張修理もしくは出張見積もりの場合

※不具合状況をサービスフロントへ詳しくご説明ください。

出張修理の場合

作業工賃 4,000 円 /30 分 (※)

出張基本料金 3,500 円 (※)

拠点からの移動費 170 円 /Km (※) (最大 50Km : 最大 8,500 円 (※))

部品代が別途発生いたします。

出張見積もりの場合

見積もり作業費用が別途発生いたします。(※ お問合せください)

出張基本料金 3,500 円 (※)

拠点からの移動費 170 円 /Km (※) (最大 50Km : 最大 8,500 円 (※))

機械を分解し不良特定を行うためもとの状態には戻せません。

引き揚げの場合は実費をご請求いたします。

夜間・深夜作業は追加料金が生じます。

(※) : 2017 年時点の料金です。

修理工賃・出張基本料金・移動料金・見積もり料金等は変更される場合がございます。サービスフロントへ事前にお問い合わせください。

ケルヒャーサービスフロント宛て FAX番号:045-438-1320

ご記入の上へサービスフロントまでFAXでお知らせください。

## 修理 申込書 (定額修理該当機種は除く)

下記の通りケルヒャーの修理を申込みます。

お客様	会社名※			
	お名前※		部署名	
	住所※	〒		
	電話番号※		FAX番号※	
	メールアドレス			
	連絡方法※	<input type="checkbox"/> メール ・ <input type="checkbox"/> 電話 ・ <input type="checkbox"/> FAX		
修理機の情報	機種名※		購入時期	
	故障状況※	<small>記入例:ポンプから水漏れ・水圧が低い。モーターがうる。時々動かない・・・</small>		

※は必ずご記入ください

● お支払について ご希望の事項にご記入または☐を入れてください。

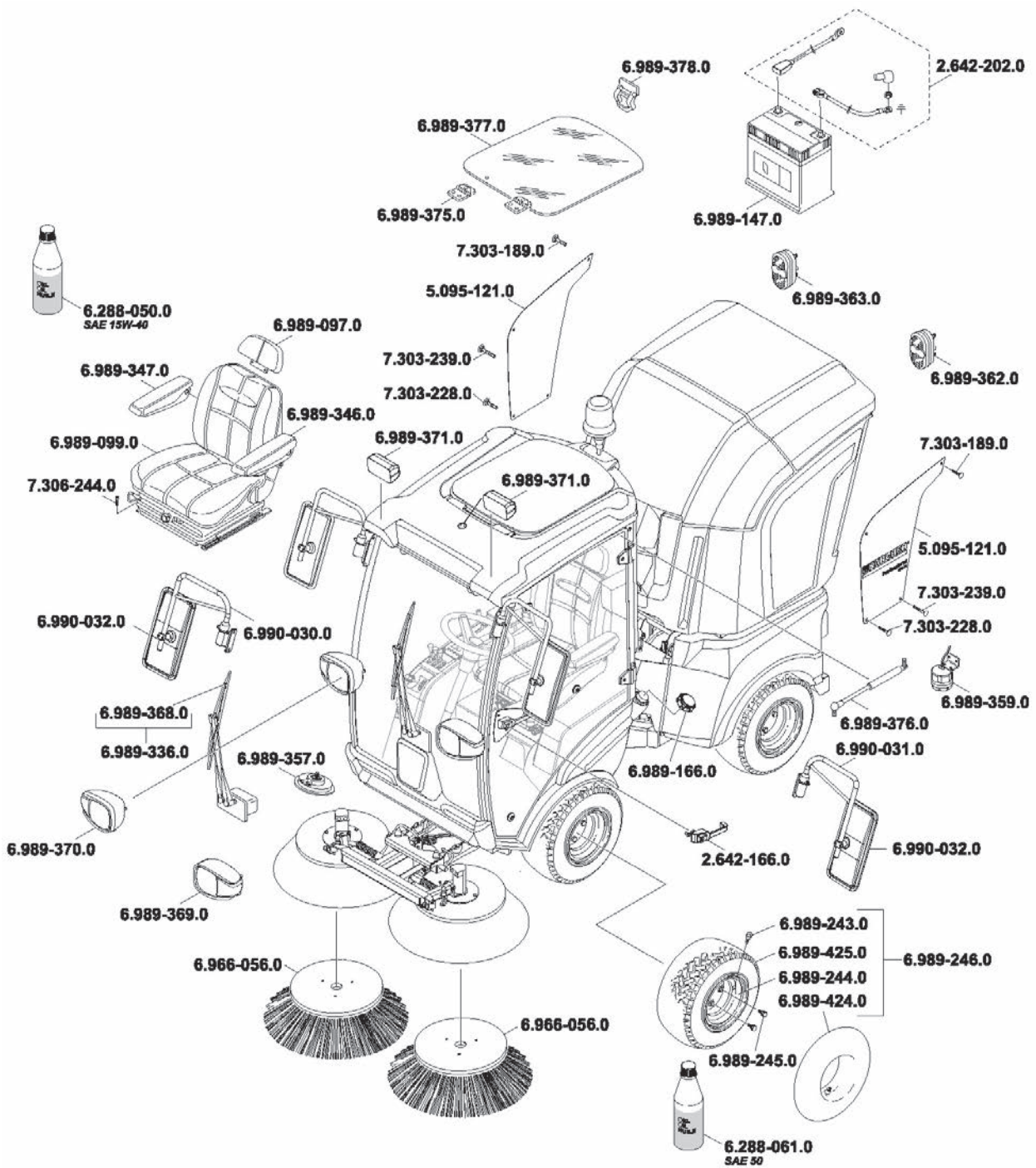
ご依頼	<input type="checkbox"/> 修理品を送付いたします。( 月 日発送予定) <input type="checkbox"/> 修理品を弊社拠点へ持ち込みます。( 月 日) <input type="checkbox"/> 出張修理を申し込みます。 <input type="checkbox"/> 出張見積もりを申し込みます。		
<p>● 持込みもしくはご送付頂く場合は本票を添付してください。 お見積り提示まで入庫後5稼働日ほどかかります。 お見積り提出後2週間以内にご連絡が頂けない場合は着払いでご返送させていただきます。</p> <p>● 出張修理もしくは出張見積もりの場合 出張基本料金3,500円・拠点からの移動費170円/Km(最大50Km:最大8,500円)・作業工賃・部品代が別途発生いたします。 出張見積もりの場合 見積もり作業費用が別途発生いたします。 (機械を分解し不良特定を行うためもとの状態に戻せません。)</p>			
お支払方法※	<input type="checkbox"/> 修理品返却の際の代引き <input type="checkbox"/> ケルヒャーからの請求書発行による振込み (請求書到着後、1か月以内にお支払いください。) <input type="checkbox"/> 代理店 (下記項目を必ずご記載ください)		
代理店さま経由で お支払の場合	代理店名		担当者名
	住所		
	TEL		
	事前に代理店さまへご通知頂き、管理番号を頂いてください。		
	代理店さま管理番号		

ケルヒャー ジャパン株式会社 サービスフロント  
TEL:0570-78-3140

201708

**KÄRCHER**

# 補修部品



---

オプションアクセサリ

MC 50

# ワンダーホース

---



## ワンダーホース



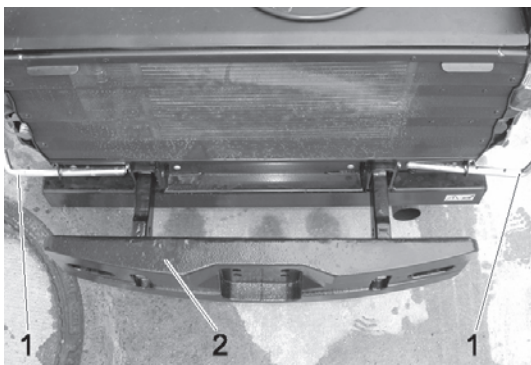
- ① タンクを持ち上げてください。
- ② ダクトにゴムプレートを被せた後タンクをもとの状態に戻してください。
- ③ ホースをタンク上部のコネクターに差し込む



- ④ シートに座る。
- ⑤ アクセルを全開にする。
- ⑥ パーキングブレーキを作動させる。
- ⑦ バキュームスイッチを入れる。
- ⑧ ワンダーホーススイッチのロック（オレンジ）を解除しスイッチを押す。

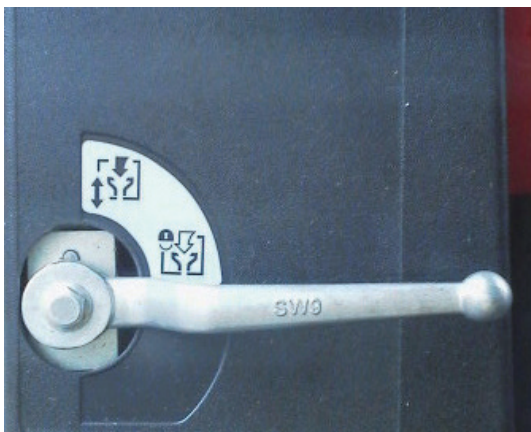


- ⑨ 車外に出て作業を行う。
- ⑩ 作業終了後タンクを持ち上げダクトのカバーを取り外し元の状態に戻してください。



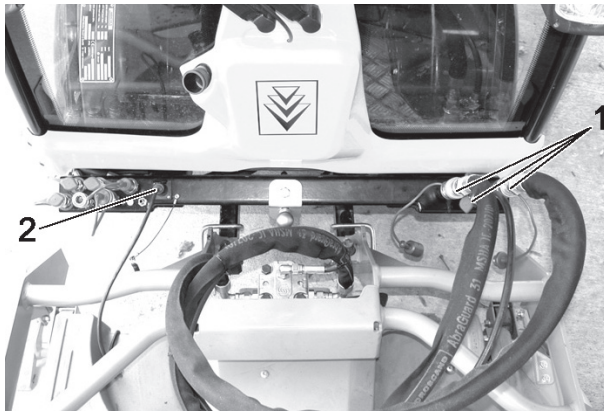
バランスウエイトを取り付けてください。

- 1 取り付けシャフト
- 2 バランスウエイト

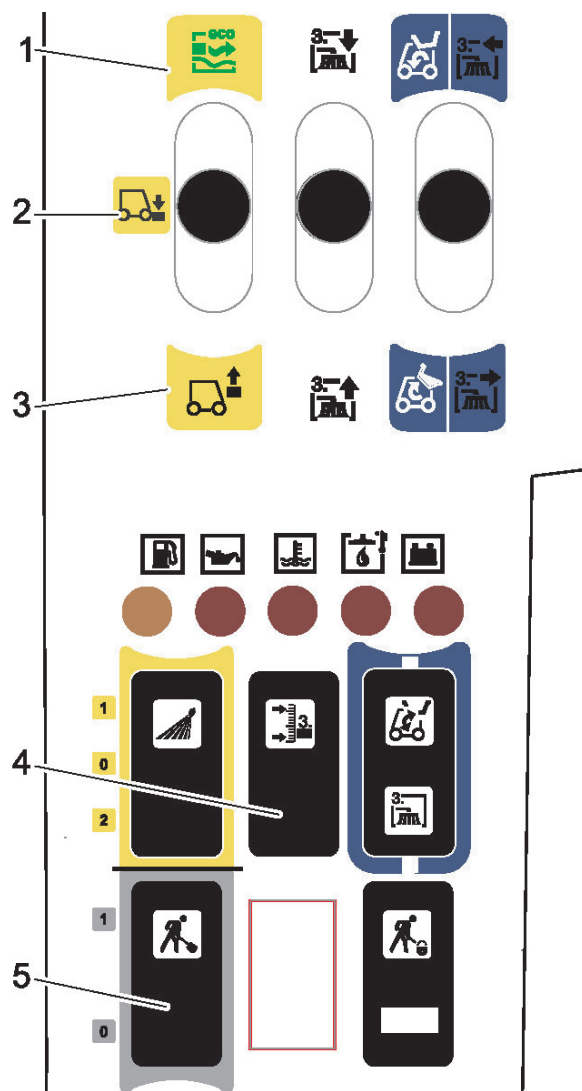


ノズル制御レバーの変更  
<ノズルを上げた状態に固定>

# 芝刈り機 125 cm



- 1 油圧ホース接続コネクタ
- 2 電源プラグ接続部



- 1 フローティングモード
- 2 ユニットニュートラル
- 3 ユニット上昇
- 4 刈り込み高さ調整
- 5 回転スイッチ

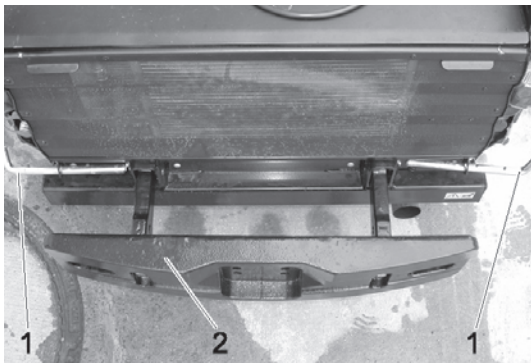
バランスウェイトを取り付けてください。  
アクセルを全開にしてください。

### 注意

芝生用タイヤを取り付けることにより作業性が向上します。

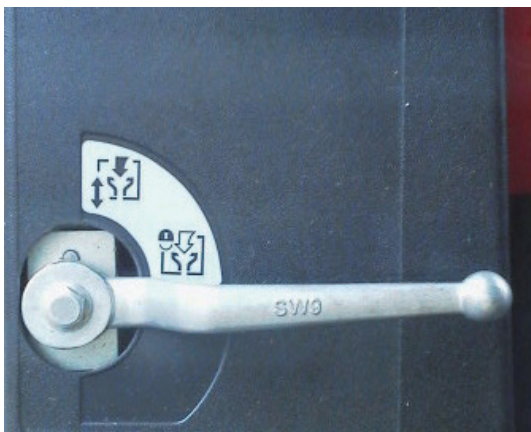
### 使用方法

- ① ユニットの降下させてください。
- ② フローティング位置にレバーを固定してください。
- ③ 回転スイッチを入れてください。
- ④ 刈り込み高さを調整してください。



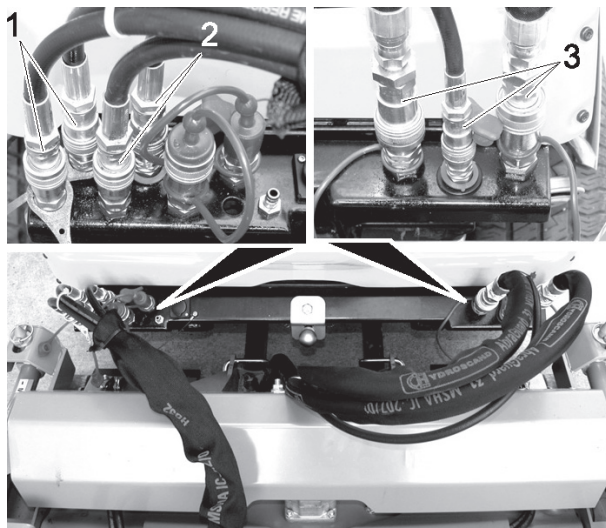
バランスウエイトを取り付けてください。

- 1 取り付けシャフト
- 2 バランスウエイト

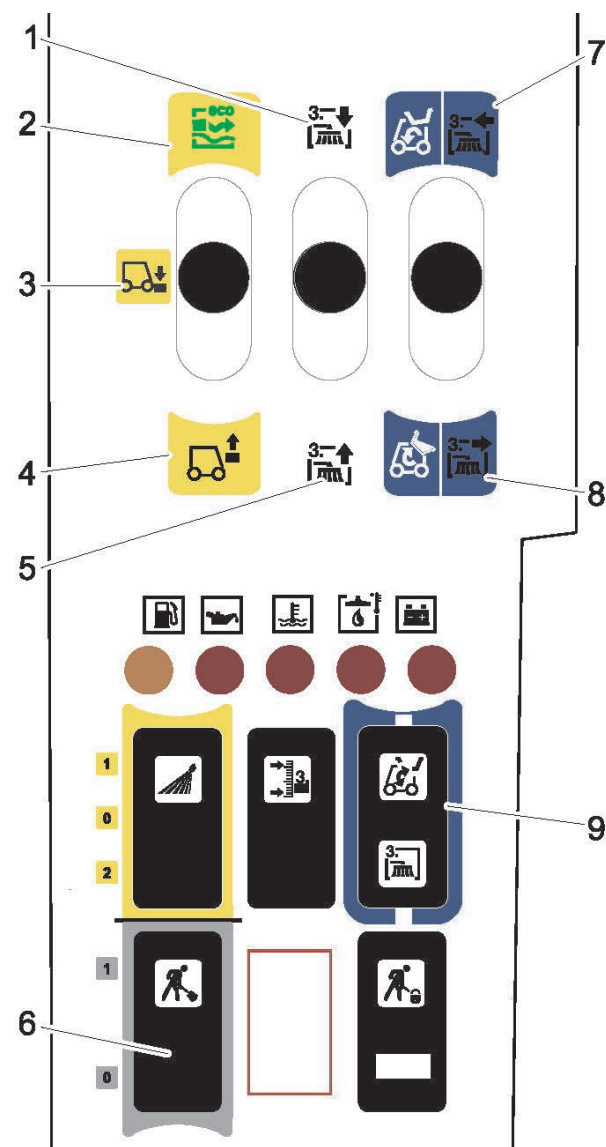


ノズル制御レバーの変更  
<ノズルを上げた状態に固定>

# 芝刈り機 135 cm



- 1 油圧ホース接続コネクタ
- 2 電源プラグ接続部



- 1 刈り込み高さ 降下
- 2 フローティングモード
- 3 ユニット ニュートラル
- 4 ユニット 上昇
- 5 刈り込み高さ 上昇
- 6 芝刈りユニット電源ON
- 7 廃棄口 閉じる
- 8 廃棄口 開く
- 9 選択スイッチ 廃棄方法

バランスウェイトを取り付けてください。  
アクセルを全開にしてください。

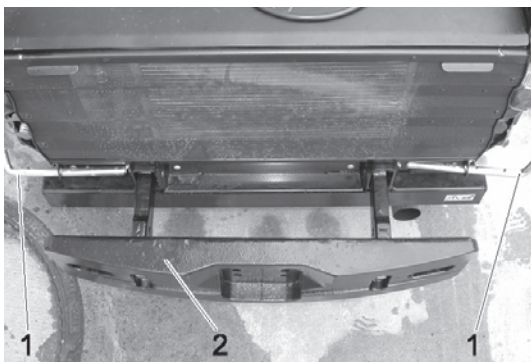
### 注意

芝生用タイヤを取り付けることにより  
作業性が向上します。

### 使用方法

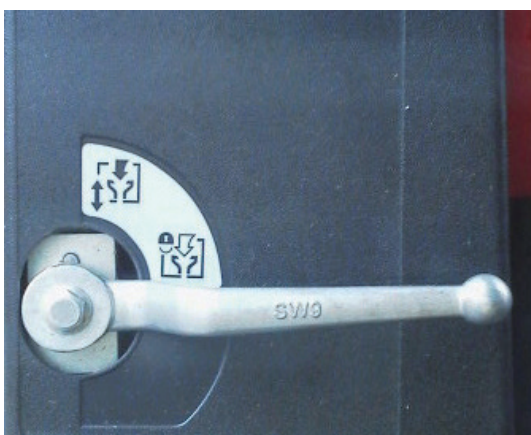
- ① ユニットの降下させてください。
- ② フローティング位置にレバーを固定  
してください。
- ③ 回転スイッチを入れてください。
- ④ 刈り込み高さを調整してください。

# ブラシローラー



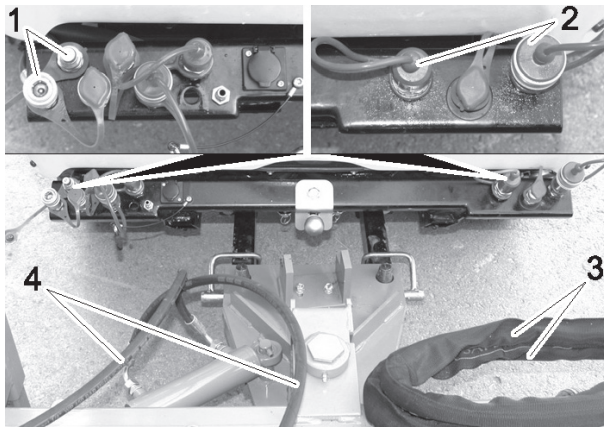
バランスウェイトを取り付けてください。

- 1 取り付けシャフト
- 2 バランスウェイト

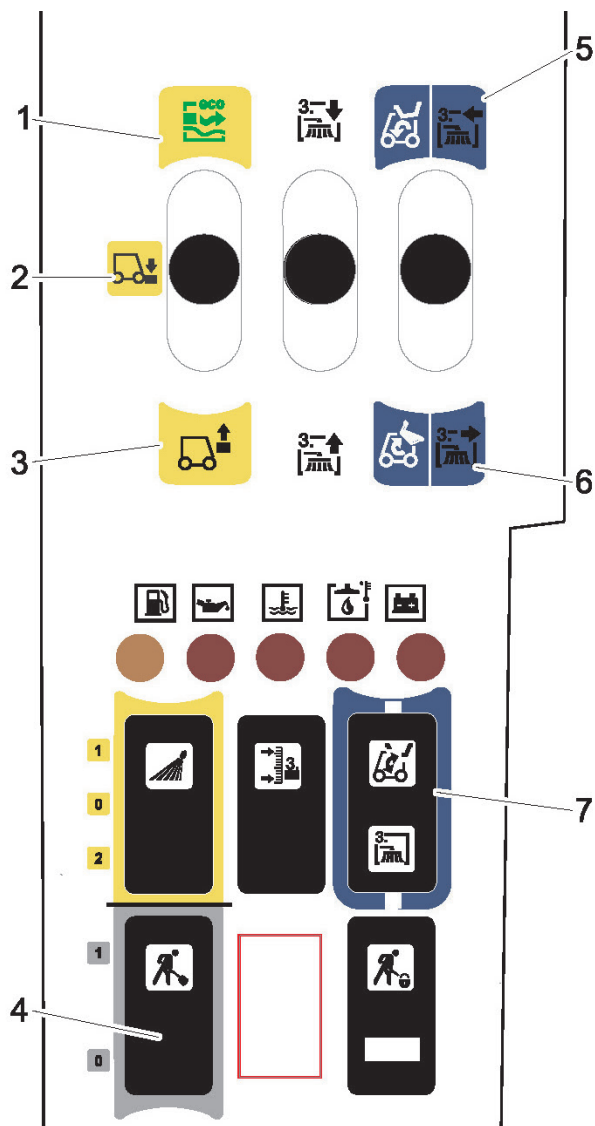


ノズル制御レバーの変更  
〈ノズルを上げた状態に固定〉

# ブラシローラー



- 1 油圧ホース接続 傾き
- 2 油圧ホース接続 ブラシ回転モーター
- 3 油圧ホース ブラシ回転モーター
- 4 油圧ホース 傾き



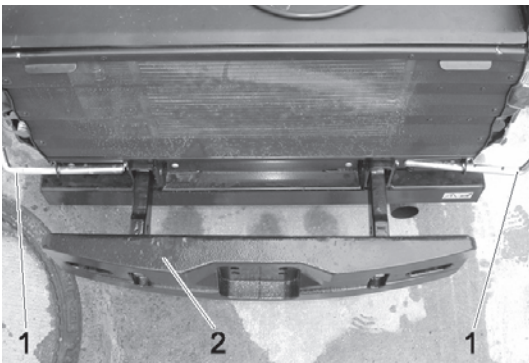
- 1 ユニットフローティング
- 2 ユニットニュートラル
- 3 ユニット上昇
- 4 ローラーブラシ回転
- 5 ブラシ左ターン
- 6 ブラシ右ターン
- 7 移動時のブラシポジション

バランスウェイトを取り付けてください。  
アクセルでブラシ回転数を調整してください。

## 使用方法

- ① ブラシ両サイドのステーを上げてください。
- ② ブラシ後部のキャスター高さを調整してください。
- ③ ユニットの降下させてください。
- ④ フローティング位置にレバーを固定してください。
- ⑤ 回転スイッチを入れてください。
- ⑥ ブラシ角度を調整してください。

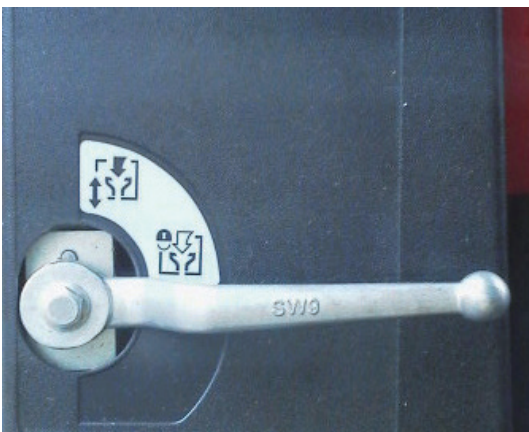
## V型 除雪板



バランスウエイトを取り付けてください。

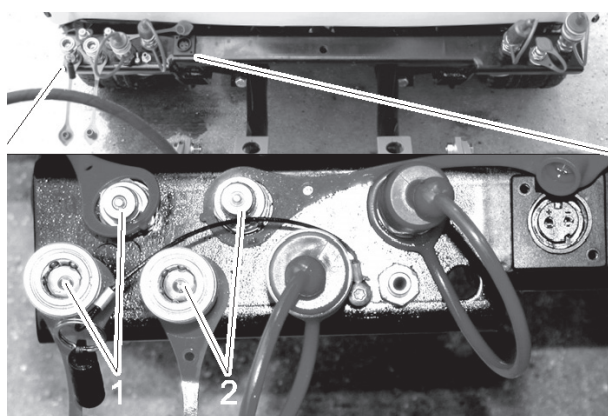
- 1 取り付けシャフト
- 2 バランスウエイト

後部に融雪剤撒布機を取り付けた場合は不要

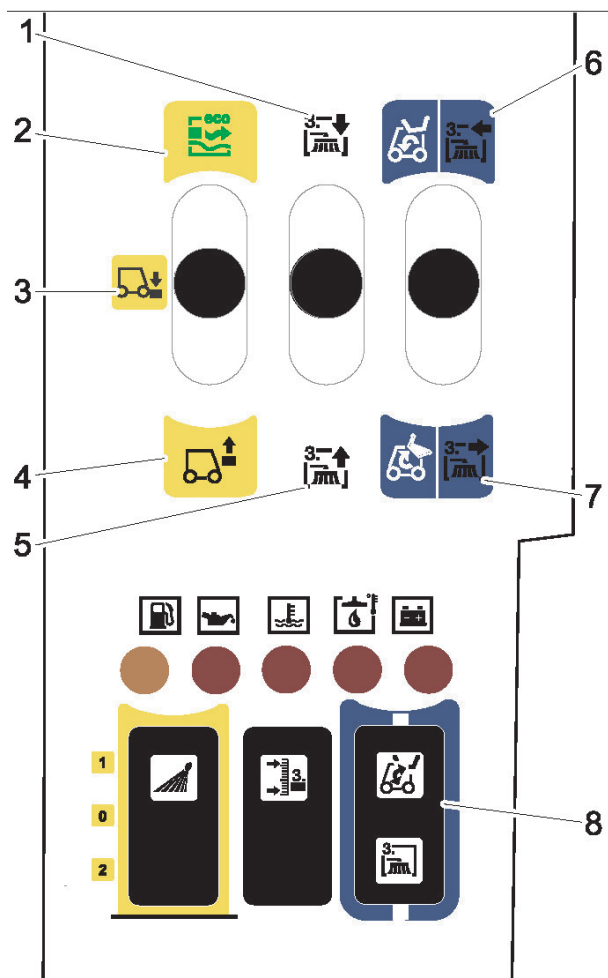


ノズル制御レバーの変更  
<ノズルを上げた状態に固定>

# V型 除雪板



- 1 右側 ユニット
- 2 左側 ユニット



- 1 左側ユニット前方回転
- 2 ユニット フローティング
- 3 ユニット降下
- 4 ユニット上昇
- 5 左側ユニット後方回転
- 6 右側ユニット前方回転
- 7 右側ユニット後方回転
- 8 移動ポジション

バランスウェイトを取り付ける。

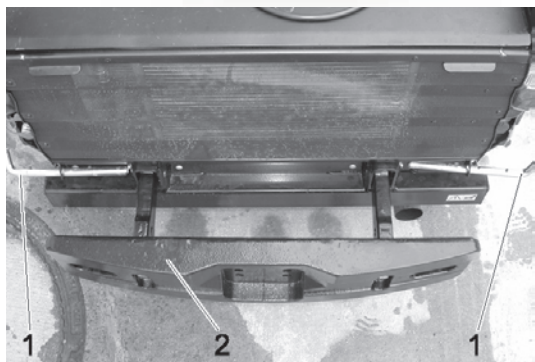
## 使用方法

- ① 除雪板後部のガイド高さを調整してください。
- ② ユニートを降下させてください。
- ③ フローティング位置にレバーを固定してください。
- ⑤ 左右の除雪板の角度を調整してください。

## <注意>

硬い雪を除雪する場合  
逆V型に変形させること

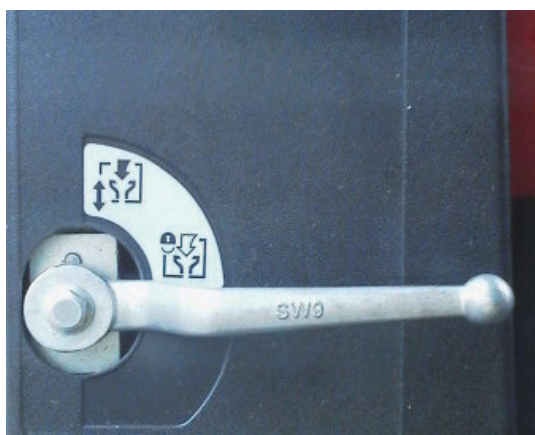
# 除雪板



バランスウエイトを取り付けてください。

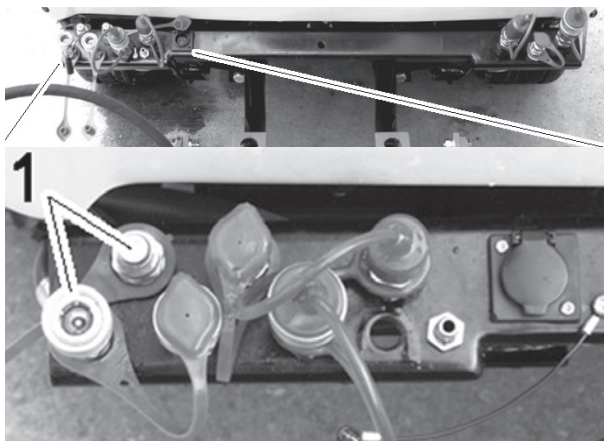
- 1 取り付けシャフト
- 2 バランスウエイト

後部に融雪剤撒布機を取り付けた場合は不要

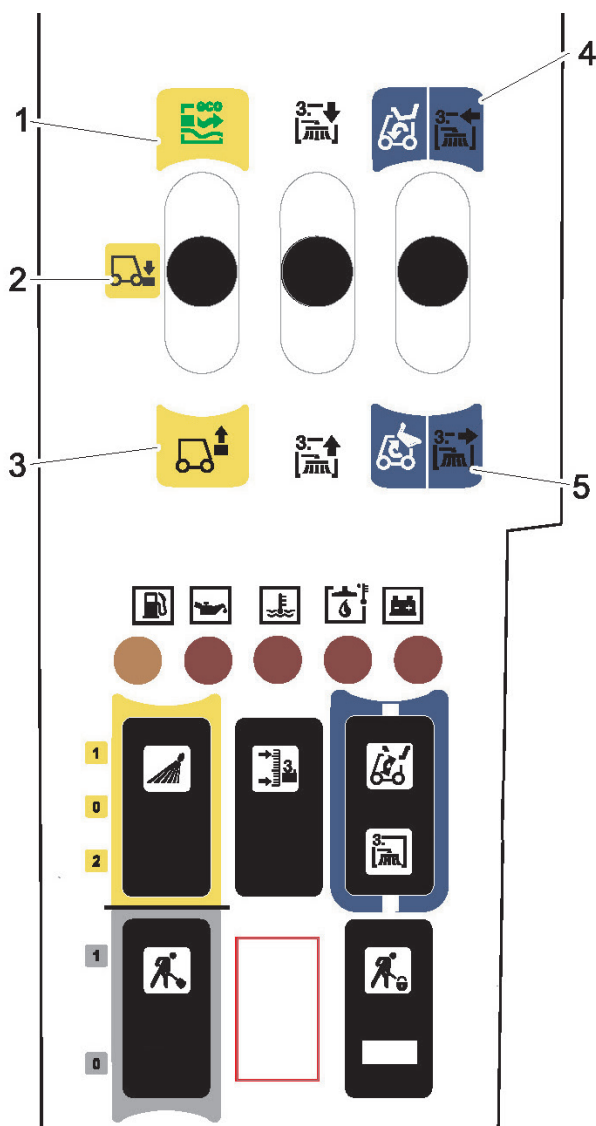


ノズル制御レバーの変更  
<ノズルを上げた状態に固定>

# 除雪板



1 プレート 旋回接続コネクター



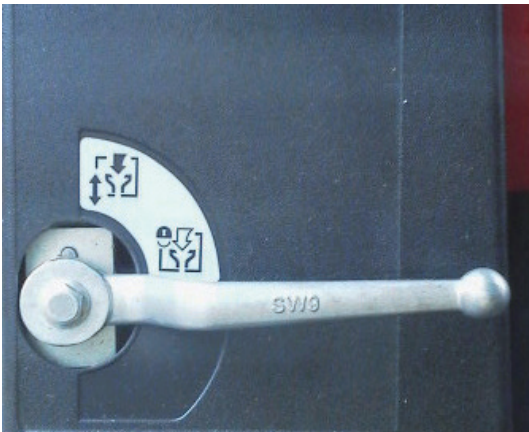
- 1 ユニットフローティング
- 2 ユニットニュートラル
- 3 ユニット上昇
- 4 プレート左ターン
- 5 プレート右ターン

バランスウェイトを取り付ける。

## 使用方法

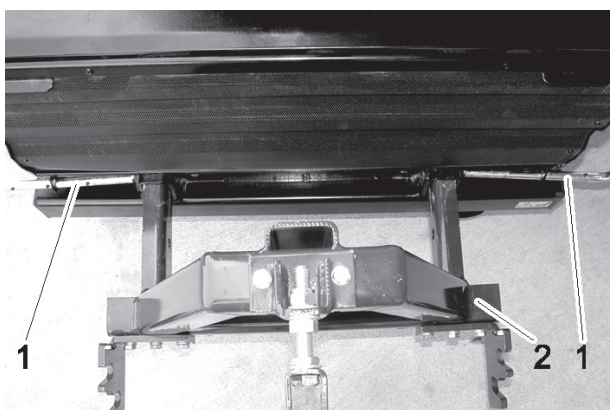
- ① 除雪板後部のガイド高さを調整してください。
- ② ユニットの降下させてください。
- ③ フローティング位置にレバーを固定してください。
- ⑤ 除雪板の角度を調整してください。

## 融雪剤撒布



ノズル制御レバーの変更  
<ノズルを上げた状態に固定>

## 融雪剤撒布



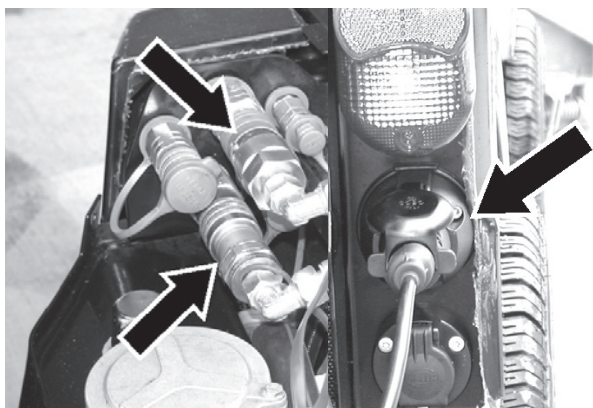
ブラケットの取り付け  
本体後部にブラケットを挿入しロックピンで固定してください。

- 1 ロックピン
- 2 ブラケット



ユニットの取り付け  
ブラケットのフックにユニットのピンを挿入してください。  
傾き調整ボルトピンを挿入し安全ピンで固定してください。  
ボルトを調整し水平にしてください。

- 1 ピン
- 2 固定ピン
- 3 安全ピン



油圧カップリングを差し込む

ウイパー・ブレーキカプラーを差し込んでください。



使用方法

- ① 撒布量を調整してください。
- ② スイッチを入れてください。
- ③ 撒布範囲を調整してください。